

(様式第10)

厚生労働大臣 殿

梨大医医事発第 3号  
令和 5年 10月 5日  
山梨大学医学部附属病院  
開設者名 国立大学法人山梨大学長  
中村 和彦

山梨大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3第1項及び医療法施行規則(昭和23年厚生省令第50号)第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和4年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒400-8510 山梨県甲府市武田4-4-37
氏名	国立大学法人山梨大学 学長 中村 和彦

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

山梨大学医学部附属病院
-------------

3 所在の場所

〒409-3898 山梨県中央市下河東1110番地
電話( 055 ) 273 - 1111

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<input checked="" type="radio"/> 1	医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
<input type="radio"/> 2	医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し○を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	有						
内科と組み合わせた診療科名等							
<input type="radio"/>	1呼吸器内科	<input type="radio"/>	2消化器内科	<input type="radio"/>	3循環器内科	<input type="radio"/>	4腎臓内科
<input type="radio"/>	5神経内科	<input type="radio"/>	6血液内科	<input type="radio"/>	7内分泌内科		8代謝内科
	9感染症内科		10アレルギー疾患内科またはアレルギー科		<input type="radio"/>		11リウマチ科
診療実績							

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。  
2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科						有	
外科と組み合わせた診療科名							
○	1呼吸器外科	○	2消化器外科	○	3乳腺外科		4心臓外科
	5血管外科	○	6心臓血管外科	○	7内分泌外科	○	8小児外科
診療実績							

- (注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。  
2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること(「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと)。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

○	1精神科	○	2小児科	○	3整形外科	○	4脳神経外科
○	5皮膚科	○	6泌尿器科	○	7産婦人科		8産科
	9婦人科	○	10眼科	○	11耳鼻咽喉科		12放射線科
○	13放射線診断科	○	14放射線治療科	○	15麻酔科	○	16救急科

- (注) 標榜している診療科名に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科						有	
歯科と組み合わせた診療科名							
	1小児歯科		2矯正歯科	○	3歯科口腔外科		
歯科の診療体制							

- (注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。  
2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	病理診断科	2	リハビリテーション科	3	形成外科	4		5	
6		7		8		9		10	
11		12		13		14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	

- (注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
40				531	571

(単位:床)

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	312	131.0	443	看護補助者	46	診療エックス線技師	0
歯科医師	4	6.4	10.4	理学療法士	14	臨床検査技師	62
薬剤師	45	1.7	46.7	作業療法士	6	衛生検査技師	0
保健師	0	0.0	0	視能訓練士	10	その他	0
助産師	37	5.3	42.3	義肢装具士	0	あん摩マッサージ指圧師	0
看護師	702	49.4	751.4	臨床工学士	17	医療社会事業従事者	0
准看護師	0	0.0	0	栄養士	3	その他の技術員	15
歯科衛生士	3	0.0	3	歯科技工士	1	事務職員	187
管理栄養士	14	1.0	15	診療放射線技師	40	その他の職員	84

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。  
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人数(人)	専門医名	人数(人)
総合内科専門医	35	眼科専門医	14
外科専門医	37	耳鼻咽喉科専門医	10
精神科専門医	6	放射線科専門医	5
小児科専門医	17	脳神経外科専門医	9
皮膚科専門医	6	整形外科専門医	13
泌尿器科専門医	11	麻酔科専門医	22
産婦人科専門医	14	救急科専門医	9
		合計	208

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 ( 木内 博之 ) 任命年月日 令和 5 年 4 月 1 日

安全管理担当副病院長(平成31年4月～令和5年3月)  
 安全管理委員会委員長(平成31年7月～令和5年3月)

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	460 人	3 人	463 人
1日当たり平均外来患者数	1291 人	52 人	1343 人
1日当たり平均調剤数	5,437		剤
必要医師数	88		人
必要歯科医師数	1		人
必要薬剤師数	15		人
必要(准)看護師数	276		人

- (注)
- 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
  - 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
  - 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
  - 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
  - 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
			病床数	12 床	心電計	
集中治療室	414.56 ㎡	鉄筋コンクリート	人工呼吸装置	有	心細動除去装置	有
			その他の救急蘇生装置	有	ペースメーカー	有
無菌病室等	[固定式の場合]	床面積	182.78	㎡	病床数	11 床
	[移動式の場合]	台数		台		
医薬品情報 管理室	[専用室の場合]	床面積	29.41			㎡
	[共用室の場合]	共用する室名	共有はしていないが「医薬品情報室」としている			
化学検査室	234 ㎡	鉄筋コンクリート	(主な設備)	多項目自動分析装置 (BM-6070(3台)、COBAS8000e801(2台)、ARCHITECT i2000他)、遠心機、検体搬送システム、フリーザー、保冷库等		
細菌検査室	136 ㎡	鉄筋コンクリート	(主な設備)	DxM1096マイクロスキャンWalkAway、バクテアラート3D、バクテックFX、US-3500、UF-5000、安全キャビネット、インキュベーター、遠心機、滅菌器、顕微鏡、フリーザー、保冷库等		
病理検査室	281 ㎡	鉄筋コンクリート	(主な設備)	(主な設備)高性能ティッシュプロセッサ、パラフィン包埋装置、自動染色装置、自動免疫染色装置、クリオスタット、マクロ及びマイクロ写真撮影装置、ティープフリーザ、ディスプレイ顕微鏡、プッシュプル式換気装置、安全キャビネット、カセットおよびプレパラート印字システム、バーチャルスライドシステム		
病理解剖室	96 ㎡	鉄筋コンクリート	(主な設備)	(主な設備)局所排気装置設置解剖室、バイオハザード対策セパレート型解剖台、解剖台用マクロ撮影装置、解剖台用層流給気照明装置、プッシュプル流水洗槽、プッシュプル多機能中央切り出し台、切り出し台用マクロ撮影装置、中央切り出し台用層流給気照明装置、床埋め込み式遺体計量器、上下2体式遺体保存冷蔵庫、解剖室映像観察システム、移動式固定臓器標本棚、高性能ティッシュプロセッサ、パラフィン包埋装置		
研究室	12,034 ㎡	鉄筋コンクリート	(主な設備)	各種実験装置、解析装置		
講義室	4,788 ㎡	鉄筋コンクリート	室数	5	室	収容定員 943 人
図書室	1,663 ㎡	鉄筋コンクリート	室数	閲覧室3室、学習室4室、視聴覚室1室、閉架書庫1室		蔵書数 98,935 冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。  
 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	82.8	%	逆紹介率	62.1	%
算出 根拠	A: 紹介患者の数		14,156		人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		11,821		人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		1,615		人
	D: 初診の患者の数		19,045		人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害 関係	委員の要件 該当状況
矢野 真	他団体医師	○	豊富な臨床経験と医療安全に関する知識により	無	1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
甲光 俊一	弁護士		弁護士としての豊富な専門知識を有している	無	1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
保坂 武	市長		行政の長であり医療を受ける者の代表として	無	2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。  
 1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者  
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)  
 3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法	
大学ホームページ	





(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

その他の高度医療の種類合計数	
扱い患者数の合計(人)	0

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	12	56	先天性副腎皮質酵素欠損症	4
2	筋萎縮性側索硬化症	31	57	サルコイドーシス	38
3	進行性核上性麻痺	12	58	特発性間質性肺炎	23
4	パーキンソン病	112	59	肺動脈性肺高血圧症	4
5	大脳皮質基底核変性症	4	60	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	1
6	シャルコー・マリー・トゥース病	3	61	慢性血栓性肺高血圧症	6
7	重症筋無力症	78	62	網膜色素変性症	17
8	多発性硬化症/視神経脊髄炎	87	63	バッド・キアリ症候群	1
9	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	14	64	原発性胆汁性肝硬変	18
10	多系統萎縮症	18	65	原発性硬化性胆管炎	3
11	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	65	66	自己免疫性肝炎	17
12	ライソゾーム病	6	67	クローン病	38
13	ミトコンドリア病	3	68	潰瘍性大腸炎	53
14	もやもや病	24	69	好酸球性消化管疾患	2
15	全身性アミロイドーシス	10	70	慢性特発性偽性腸閉塞症	1
16	神経線維腫症	10	71	CFC症候群	1
17	天疱瘡	8	72	先天性ミオパチー	1
18	膿疱性乾癬(汎発型)	6	73	筋ジストロフィー	11
19	スティーヴンス・ジョンソン症候群	1	74	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	1
20	高安動脈炎	8	75	先天性無痛無汗症	1
21	巨細胞性動脈炎	6	76	レット症候群	1
22	結節性多発動脈炎	6	77	結節性硬化症	4
23	顕微鏡的多発血管炎	22	78	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	5
24	多発血管炎性肉芽腫症	6	79	マルファン症候群	5
25	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	11	80	エーラス・ダンロス症候群	1
26	悪性関節リウマチ	3	81	ウィルソン病	3
27	バージャー病	3	82	ウィリアムズ症候群	1
28	原発性抗リン脂質抗体症候群	2	83	ヌーナン症候群	1
29	全身性エリテマトーデス	150	84	22q11.2欠失症候群	1
30	皮膚筋炎/多発性筋炎	76	85	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	1
31	全身性強皮症	21	86	ファロー四徴症	1
32	混合性結合組織病	16	87	アルポート症候群	2
33	シェーグレン症候群	12	88	急速進行性糸球体腎炎	1
34	成人スチル病	6	89	抗糸球体基底膜腎炎	1
35	再発性多発軟骨炎	1	90	一次性ネフローゼ症候群	21
36	ベーチェット病	26	91	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	1
37	特発性拡張型心筋症	22	92	紫斑病性腎炎	3
38	肥大型心筋症	2	93	間質性膀胱炎(ハンナ型)	2
39	再生不良性貧血	16	94	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	1
40	自己免疫性溶血性貧血	2	95	フェニルケトン尿症	1
41	発作性夜間ヘモグロビン尿症	4	96	尿素サイクル異常症	1
42	特発性血小板減少性紫斑病	32	97	ポルフィリン症	1
43	血栓性血小板減少性紫斑病	1	98	家族性地中海熱	2
44	原発性免疫不全症候群	4	99	強直性脊椎炎	10
45	IgA腎症	29	100	リンパ管腫症/ゴーハム病	1
46	多発性嚢胞腎	17	101	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病)	1
47	黄色靱帯骨化症	20	102	先天性赤血球形成異常性貧血	1
48	後縦靱帯骨化症	52	103	後天性赤芽球癆	1
49	広範脊柱管狭窄症	1	104	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	1
50	特発性大腿骨頭壊死症	20	105	胆道閉鎖症	2
51	下垂体性ADH分泌異常症	9	106	IgG4関連疾患	7
52	下垂体性PRL分泌亢進症	7	107	好酸球性副鼻腔炎	52
53	クッシング病	2	108	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	2
54	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	16	109	特発性多中心性キャスルマン病	3
55	下垂体前葉機能低下症	40			

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

疾患数	109
合計患者数(人)	1,558

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・特定機能病院入院基本料1.一般病棟イ(7対1)	・報告書管理体制加算
・特定機能病院入院基本料3.精神病棟ハ(13対1)	・褥瘡ハイリスク患者ケア加算
・救急医療管理加算	・ハイリスク妊娠管理加算
・超急性期脳卒中加算	・ハイリスク分娩管理加算
・診療録管理体制加算1	・呼吸ケアチーム加算
・医師事務作業補助体制加算1(15対1)	・術後疼痛管理チーム加算
・急性期看護補助体制加算 25対1(看護補助者5割未満)	・後発医薬品使用体制加算1
・(夜間100対1急性期看護補助体制加算)	・病棟薬剤業務実施加算1
・(夜間看護体制加算)	・病棟薬剤業務実施加算2
・看護職員夜間配置加算(12対1)1	・データ提出加算
・看護補助加算2(50対1)	・入退院支援加算
・療養環境加算	・(入院時支援加算)
・重症者等療養環境特別加算(36床)	・認知症ケア加算1
・無菌治療室管理加算1	・せん妄ハイリスク患者ケア加算
・無菌治療室管理加算2	・精神疾患診療体制加算
・放射線治療病室管理加算(治療用放射性同位元素による場合)	・精神科急性期医師配置加算2のイ
・放射線治療病室管理加算(密封小線源による場合)	・排尿自立支援加算
・緩和ケア診療加算	・地域医療体制確保加算
・精神科身体合併症管理加算	・特定集中治療室管理料1
・精神科リエゾンチーム加算	・(小児加算)
・栄養サポートチーム加算	・(早期離床・リハビリテーション加算)
・医療安全対策加算1	・新生児特定集中治療室管理料1
・感染対策向上加算1	・新生児治療回復室入院医療管理料
・(指導強化加算)	・小児入院医療管理料2
・患者サポート体制充実加算	・(プレイルーム加算)
・重症者初期支援充実加算	・看護職員処遇改善評価料76



(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・遠隔モニタリング加算(ペースメーカー指導管理料)	・医療機器安全管理料1
・糖尿病合併症管理料	・医療機器安全管理料2
・がん性疼痛緩和指導管理料	・在宅血液透析指導管理料
・がん患者指導管理料イ	・遠隔モニタリング加算(在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料)
・がん患者指導管理料ロ	・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
・がん患者指導管理料ニ	・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)
・外来緩和ケア管理料	・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)
・移植後患者指導管理料(臓器移植後)	・遺伝学的検査
・移植後患者指導管理料(造血管細胞移植後)	・流産検体を用いた絨毛染色体検査(染色体検査の注2)
・糖尿病透析予防指導管理料	・骨髄微小残存病変量測定
・小児運動器疾患指導管理料	・BRCA1/2遺伝子検査
・乳腺炎重症化予防・ケア指導料	・がんゲノムプロファイリング検査
・婦人科特定疾患治療管理料	・先天性代謝異常症検査
・一般不妊治療管理料	・抗アデノ随伴ウイルス9型(AAV9)抗体
・生殖補助医療管理料1	・抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)
・二次性骨折予防継続管理料1	・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
・下肢創傷処置管理料	・検体検査管理加算(IV)
・外来放射線照射診療料	・国際標準検査管理加算
・外来腫瘍化学療法診療料1	・遺伝カウンセリング加算
・(連携充実加算)	・遺伝性腫瘍カウンセリング加算
・療養・就労両立支援指導料	・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
・(相談支援加算)	・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
・がん治療連携計画策定料	・胎児心エコー法
・外来排尿自立指導料	・ヘッドアップティルト試験
・肝炎インターフェロン治療計画料	・皮下連続式グルコース測定
・薬剤管理指導料	・長期継続頭蓋内脳波検査

施設基準の種類	施設基準の種類
・神経学的検査	・透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
・補聴器適合検査	・移植後抗体関連型拒絶反応治療における血漿交換療法
・ロービジョン検査判断料	・皮膚悪性腫瘍切除術(センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る。)
・小児食物アレルギー負荷検査	・組織拡張器による再建手術(一連につき)(乳房(再建手術)の場合に限る。)
・内服・点滴誘発試験	・処理骨再建加算
・CT透視下気管支鏡検査加算	・後縦靭帯骨化症手術(前方進入によるもの)
・画像診断管理加算3	・椎間板内酵素注入療法
・CT撮影及びMRI撮影	・内視鏡下脳腫瘍生検術及び内視鏡下脳腫瘍摘出術
・冠動脈CT撮影加算	・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)&及び脳刺激装置交換術
・血流予備量比コンピューター断層撮影	・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
・心臓MRI撮影加算	・癒着性脊髄くも膜炎手術(脊髄くも膜剥離操作を行うもの)
・乳房MRI撮影加算	・仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術(便過活動膀胱)
・小児鎮静下MRI撮影加算	・角結膜悪性腫瘍切除術
・頭部MRI撮影加算	・治療的角膜切除術(エキシマレーザーによるもの(角膜ジストロフィー又は带状角膜変性に係るものに限る。))
・全身MRI撮影加算	・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
・肝エラストグラフィ加算	・緑内障手術(流出路再建術(眼内法)及び(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術))
・外来化学療法加算1	・緑内障手術(濾過法再建術(needle法))
・無菌製剤処理料	・経外耳道的内視鏡下鼓室形成術
・心大血管疾患リハビリテーション料(I)	・人工中耳植込術、人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
・脳血管疾患等リハビリテーション料(I)	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)、経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術
・運動器リハビリテーション料(I)	・内喉頭筋内注入術(ボツリヌス毒素によるもの)
・呼吸器リハビリテーション料(I)	・内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出術、内視鏡下パセドウ甲状腺全摘(亜全摘)術(両葉)、内視鏡下副甲状腺(上皮小体)腺腫過形成手術
・がん患者リハビリテーション料	・乳房切除術(性同一性障害の患者に対して行う場合に限る。)
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	・乳腺悪性腫瘍手術(乳がんセンチネルリンパ節加算1又は乳がんセンチネルリンパ節加算2を算定する場合に限る。)
・医療保護入院等診療料	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・処置の休日加算1、時間外加算1及び深夜加算1	・胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・硬膜外自家血注入	・胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・エタノールの局所注入(甲状腺に対するもの)	・胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・人工腎臓	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除で内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・導入期加算1	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもので、内視鏡手術用支援機器を用いる場合)

施設基準の種類	施設基準の種類
・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(気管支形成を伴う肺切除)	・腹腔鏡下睪頭部腫瘍切除術
・胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)	・腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・胸腔鏡下弁形成術及び胸腔鏡下弁置換術	・内視鏡的小腸ポリープ切除術
・経カテーテル大動脈弁置換術(経心尖大動脈弁置換術及び経皮的動脈弁置換術)	・腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・経皮的僧帽弁クリップ術	・腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)
・不整脈手術(左心耳閉鎖術(経カテーテル的手術によるもの)に限る。)	・腹腔鏡下腎・尿管悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・経皮的中隔心筋焼灼術	・腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	・同種死体腎移植術
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)	・生体腎移植術
両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)	・膀胱水圧拡張術、ハンナ型間質性膀胱炎手術(経尿道)
・植込型除細動器移植術(心筋リードを用いるもの)及び植込型除細動器交換術(心筋リードを用いるもの)	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極除去術	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(心筋電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(心筋電極の場合)	・腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術
・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)	・人工尿道括約筋植込・置換術
・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)	・膀胱頸部形成術(膀胱頸部吊上術以外)、埋没陰茎手術及び陰嚢水腫手術(鼠径部切開によるもの)
・経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)	・精巣内精子採取術
・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(側方)	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・腹腔鏡下小切開手術	・腹腔鏡下仙骨腫固定術
・腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)	・腹腔鏡下仙骨腫固定手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下噴門側胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下胃全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
・バルーン閉塞下経静脈的塞栓術	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)
・腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術(胆嚢床切除を伴うもの)	・腹腔鏡下子宮瘢痕部修復術
・胆管悪性腫瘍手術(睪頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)	・体外式膜型人工肺管理料
・腹腔鏡下肝切除術	・尿道形成手術(前部尿道)(性同一性障害の患者に対して行う場合に限る。)
・腹腔鏡下睪体尾部腫瘍切除術	・尿道下裂形成手術(性同一性障害の患者に対して行う場合に限る。)
・腹腔鏡下睪体尾部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・陰茎形成手術(性同一性障害の患者に対して行う場合に限る。)

施設基準の種類	施設基準の種類
・陰茎全摘術(性同一性障害の患者に対して行う場合に限る。)	・画像誘導密封小線源治療加算
・精巣摘出術(性同一性障害の患者に対して行う場合に限る。)	・保険医療機関間の連携による病理診断
・会陰形成手術(筋層に及ばないもの)(性同一性障害の患者に対して行う場合に限る。)	・保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作製
・造脛術、脛閉鎖症術(遊離植皮によるもの、腸管形成によるもの、筋皮弁移植によるもの)(性同一性障害の患者に対して行う場合に限る。)	・保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による迅速細胞診
・子宮全摘術(性同一性障害の患者に対して行う場合に限る。)	・デジタル病理画像による病理診断
・腹腔鏡下腔式子宮全摘術(性同一性障害の患者に対して行う場合に限る。)	・病理診断管理加算2
・子宮附属器腫瘍摘出術(両側)(性同一性障害の患者に対して行う場合に限る。)	・悪性腫瘍病理組織標本加算
・手術の休日加算1、時間外加算1及び深夜加算1	・精密触覚機能検査
・胃瘻造設術(内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	・歯科口腔リハビリテーション料2
・乳房切除術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対して行うものに限る。)	・口腔粘膜処置
・子宮附属器腫瘍摘出術(両側)(遺伝性乳癌卵巣癌症候群に対して行うものに限る。)	・CAD/CAM冠及びCAD/CAMインレー
・輸血管理料Ⅱ	・有床義歯修理及び有床義歯内面適合法の歯科技工加算
・コーディネート体制充実加算	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)
・自己生体組織接着剤作成術	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・自己クリオプレシピレート作製術(用手法)	・レーザー機器加算の施設基準(歯科)
・同種クリオプレシピレート作製術	・口腔病理診断管理加算2
・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・胃瘻造設時嚙下機能評価加算	
・レーザー機器加算の施設基準(医科)	
・麻酔管理料(Ⅰ)	
・麻酔管理料(Ⅱ)	
・放射線治療専任加算	
・外来放射線治療加算	
・高エネルギー放射線治療	
・1回線量増加加算	
・強度変調放射線治療(IMRT)	
・画像誘導放射線治療加算(IGRT)	
・体外照射呼吸性移動対策加算	
・定位放射線治療	
・定位放射線治療呼吸性移動対策加算	



## (様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
唾液メタボローム解析による膵癌早期診断システムの構築に関する研究	板倉 淳	臨床研修センター	1,040,000	補	(独)日本学術振興会
Ph+急性リンパ性白血病における脂質代謝異常の解析	渡邊 敦	小児科	1,300,000	補	(独)日本学術振興会
糖尿病患者の唾液メタボローム解析による膵癌早期診断の可能性に関する研究	川井田 博充	消化器外科、乳腺・内分泌外科	780,000	補	(独)日本学術振興会
状腺形成に関わる新規遺伝子変異のスクリーニングシステムの構築	矢ヶ崎 英晃	小児科	910,000	補	(独)日本学術振興会
C末端欠損p53の活性化亢進機序の解明	中根 貴弥	小児科	1,560,000	補	(独)日本学術振興会
1分子シークエンサーを用いたウイルスゲノム解析によるウイルス制御後肝病態の解明	前川 伸哉	消化器内科	1,430,000	補	(独)日本学術振興会
新規腎臓オルガノイドを用いた細胞アッセイへの応用	内村 幸平	腎臓内科	1,950,000	補	(独)日本学術振興会
HIV感染における表皮・腫上皮resident memoryT細胞の役割	小川 陽一	皮膚科	910,000	補	(独)日本学術振興会
脂肪細胞のPHLDB1を介した糖脂質代謝とアディポカイン分泌機構の解明	土屋 恭一郎	糖尿病・内分泌内科	780,000	補	(独)日本学術振興会
消化器癌における血球細胞を介した癌進展機序の解明と新たな治療法開発	市川 大輔	消化器外科、乳腺・内分泌外科	910,000	補	(独)日本学術振興会
穿孔性細菌性腹膜炎におけるエクソゾームの役割の解析と、臨床への応用	河野 寛	消化器外科、乳腺・内分泌外科	1,170,000	補	(独)日本学術振興会
PI3K/Akt経路からみた虚血再灌流障害に対するフラボノイドの心筋保護効果	小口 健史	麻酔科	1,300,000	補	(独)日本学術振興会
脳梗塞発生時におけるプロボフォールの脳保護作用メカニズム	三井 一葉	麻酔科	1,300,000	補	(独)日本学術振興会
新規トリプトファン代謝酵素阻害剤とインターフェロンによるグリオーマ複合免疫療法	川瀧 智之	脳神経外科	1,430,000	補	(独)日本学術振興会
脳虚血および虚血耐性現象におけるミトコンドリア細胞間移動の意義の解明	吉岡 秀幸	脳神経外科	1,170,000	補	(独)日本学術振興会
脊損後排尿障害へグルタミン酸信号伝達を介し関与する神経栄養因子前駆体の作用解析	芳山 充晴	泌尿器科	1,170,000	補	(独)日本学術振興会
イムノメタボリズムを標的とした頭頸部がん治療戦略の構築	石井 裕貴	頭頸部・耳鼻咽喉科	780,000	補	(独)日本学術振興会
山梨県域をバーチャル診療機関とした緑内障プレジジョンメディシンの推進	柏木 賢治	眼科	1,040,000	補	(独)日本学術振興会
血縁者間造血細胞移植ドナーの心理的経験	大島 智恵	看護部	780,000	補	(独)日本学術振興会
新規S-グルタチオン化蛋白C/EBPbが活性酸素による肥満・脂肪合成を媒介する	渡辺 陽介	循環器内科	1,040,000	補	(独)日本学術振興会
中鎖脂肪酸によるメタボリック肝発癌抑制とメタボリック症候群の改善効果の検討	細村 直弘	消化器外科、乳腺・内分泌外科	1,170,000	補	(独)日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
エクソソームによる脳梗塞後グリア瘢痕制御と軸索再生の治療効果の検証	上野 祐司	神経内科	1,000,000	補 (独) 日本学術振興会
家庭内事故による乳児急性硬膜下血腫における頭の形の影響と予防法	小鹿 学	新生児集中治療部	1,040,000	補 (独) 日本学術振興会
節外性NK/T細胞リンパ腫の分子サブタイプに対応する病理組織学的所見の解明	大石 直輝	病理診断科	1,560,000	補 (独) 日本学術振興会
高齢者における脊椎後弯と大動脈弁狭窄症進行に関する基礎的臨床的分析	中村 貴光	循環器内科	1,430,000	補 (独) 日本学術振興会
遺伝性痙性対麻痺の新規原因遺伝子同定	瀧山 嘉久	神経内科	1,300,000	補 (独) 日本学術振興会
アストロサイト性神経回路再編異常を標的とするてんかん予防治療法の開発	佐野 史和	小児科	1,430,000	補 (独) 日本学術振興会
非アルコール性脂肪肝疾患における肝マクロファージの役割の解析と、その臨床応用	雨宮 秀武	消化器外科、乳腺・内分泌外科	1,690,000	補 (独) 日本学術振興会
機械学習を利用したシバリングの検出	和田 啓一	麻酔科	1,170,000	補 (独) 日本学術振興会
低酸素環境における経鼻インスリン投与の脳組織への抗炎症作用の検討	池本 剛大	麻酔科	1,430,000	補 (独) 日本学術振興会
PI3K/Akt経路からみたラクトフェリンの気絶心筋に対する保護効果の検討	松川 隆	麻酔科	1,690,000	補 (独) 日本学術振興会
ロボット支援腹腔鏡下手術の麻酔管理が脳に与える影響の解明	浅野 伸将	麻酔科	910,000	補 (独) 日本学術振興会
臨死期のがん患者が死に至る病態解明に関する研究	飯嶋 哲也	麻酔科	130,000	補 (独) 日本学術振興会
ARDSモデルラットにおける短時間液体呼吸と新規薬物伝達システムの治療効果の検証	針井 則一	救急部	650,000	補 (独) 日本学術振興会
脳虚血および虚血耐性現象におけるインターフェロン制御因子ファミリーの役割の解明	舘岡 達	脳神経外科	1,300,000	補 (独) 日本学術振興会
骨軟部肉腫におけるマクロファージによる腫瘍微小環境の調節と新規治療開発	市川 二郎	整形外科	780,000	補 (独) 日本学術振興会
肉腫と血小板の相互作用による増殖・転移誘導とその分子機構を標的とした治療法の開発	谷口 直史	リハビリテーション科	1,170,000	補 (独) 日本学術振興会
膀胱の線維化に至るHippo-Yap回路活性と低活動膀胱の関連性の検討	井原 達矢	泌尿器科	910,000	補 (独) 日本学術振興会
排尿筋低活動に対するシトルリン/アルギニン投与による予防および治療効果の検討	三井 貴彦	泌尿器科	1,560,000	補 (独) 日本学術振興会
難治性口腔癌におけるPTK7発現の浸潤機構の解明と新たな臨床応用	吉澤 邦夫	歯科口腔外科	1,300,000	補 (独) 日本学術振興会
ビタミンDの小児運動機能への影響	若生 政憲	整形外科	1,690,000	補 (独) 日本学術振興会
人工知能学に基づく認知症ケアの実践知を学ぶプログラムの開発と効果検証	小林 美亜	病院経営管理部	3,770,000	補 (独) 日本学術振興会
自閉スペクトラム症に併存する限局性学習症の病態解明とその支援法の確立	加賀 佳美	小児科	2,210,000	補 (独) 日本学術振興会
ヘモグロビン糖化の個人差に基づく糖尿病合併症リスク管理指標の開発	望月 美恵	小児科	1,950,000	補 (独) 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
小児ネフローゼ症候群の保護者に対するヘルスリテラシー調査と課題	沢登 恵美	小児科	1,560,000	補 (独) 日本学術振興会
小児難治性腫瘍におけるmitotic slippageの克服	合井 久美子	小児科	1,430,000	補 (独) 日本学術振興会
GDF15-GFRALシグナルの亢進は小児慢性腎臓病患者の食行動に影響するか	後藤 美和	小児科	2,730,000	補 (独) 日本学術振興会
双極性障害における細胞内カルシウム恒常性異常と時計遺伝子の関連解析	上村 拓治	精神神経科	1,690,000	補 (独) 日本学術振興会
産後うつ支援における新規検査手法の開発	小林 慶太	精神神経科	1,040,000	補 (独) 日本学術振興会
非アルコール性脂肪疾患における中鎖脂肪酸の効果と遺伝子発現解析による病態解明	古屋 信二	消化器外科、乳腺・内分泌外科	1,820,000	補 (独) 日本学術振興会
胸腹部大動脈瘤におけるマクロファージのオートファジー機構の役割	古藤田 眞和	麻酔科	1,560,000	補 (独) 日本学術振興会
人工心臓が惹起する急性炎症と認知機能障害に対する経鼻インスリンの効果と機序の解明	川上 亜希子	麻酔科	1,820,000	補 (独) 日本学術振興会
女性ホルモンによる腸内細菌を介した免疫細胞制御機構の解明	吉野 修	産科婦人科	1,300,000	補 (独) 日本学術振興会
難治性過活動膀胱に対する新規治療標的の探索	吉良 聡	泌尿器科	260,000	補 (独) 日本学術振興会
脳における排尿関連細胞の選択的操縦とそのプロファイルの探究	志村 寛史	泌尿器科	1,560,000	補 (独) 日本学術振興会
原発開放隅角緑内障発症進行メカニズムの解明ー遺伝子多型と視野障害の関係ー	間瀬 文彦	眼科	1,300,000	補 (独) 日本学術振興会
急増する小児アレルギー性鼻炎の発症リスク因子と発症機序の解明に向けた研究	櫻井 大樹	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	2,860,000	補 (独) 日本学術振興会
甲状腺濾胞パターン腫瘍のゲノム・エピゲノム変動に基づく層別化診断の確立	近藤 哲夫	病理診断科	2,600,000	補 (独) 日本学術振興会
キセノン・水素・アルゴンガスの脳保護効果と組み合わせによる脳保護効果の増強	石山 忠彦	手術部	2,990,000	補 (独) 日本学術振興会
インドシアニングリーンによる捻転卵巣の壊死予測	尾山 恵亮	産婦人科	650,000	補 (独) 日本学術振興会
胃印環細胞癌からアプローチする胃癌組織不均一性に関する研究	齊藤 亮	消化器外科、乳腺・内分泌外科	1,170,000	補 (独) 日本学術振興会
質量分析器を利用した神経膠腫の術中迅速細胞密度測定	埴原 光人	脳神経外科	780,000	補 (独) 日本学術振興会
アレルギー性鼻炎とその免疫寛容におけるB7/CD28ファミリーの機能を解明する	五十嵐 賢	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	260,000	補 (独) 日本学術振興会
口腔扁平上皮癌におけるFGFR c-isoformの発現機構の解明と治療応用	堀田 麻実	歯科口腔外科	910,000	補 (独) 日本学術振興会
新規プライマーセットを用いた高感度性別判定法の開発	藤本 佳那	歯科口腔外科	1,430,000	補 (独) 日本学術振興会
患者中心の医療を支える意思決定支援のための系統的な情報提供方法の開発と効果検証	荒神 裕之	医療の質・安全管理部	780,000	補 (独) 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
患者由来オルガノイドを用いた、病理診断、遺伝子解析、治療有効性に関する研究	池村 辰之介	呼吸器内科	910,000	補 (独) 日本学術振興会
慢性骨髄性白血病幹細胞の起源における造血幹細胞多様性の意義の解明	玉井 望雅	小児科	910,000	補 (独) 日本学術振興会
脳梗塞神経幹細胞移植治療におけるA2アストロサイトの分化制御機序と役割の解明	若井 卓馬	脳神経外科	1,300,000	補 (独) 日本学術振興会
高齢心不全患者におけるマイオカインのバイオマーカーとしての臨床的有用性の検討	植松 学	循環器内科	910,000	補 (独) 日本学術振興会
ULP型大動脈解離における血行力学的予後因子の解明	城野 悠志	放射線科	1,170,000	補 (独) 日本学術振興会
3次元 T1 mappingを用いた膝 T1容積による膝外分泌機能評価法の開発	森阪 裕之	放射線科	1,820,000	補 (独) 日本学術振興会
ストレス刺激に対する遷延性交感神経活動増強応答におけるグリア細胞の役割の解明	河野 洋介	新生児集中治療部	1,560,000	補 (独) 日本学術振興会
膵β細胞プロスタシンによるインスリン分泌制御機構と増殖維持効果の解明	石井 俊史	腎臓内科	2,340,000	補 (独) 日本学術振興会
血小板を介した新たな胃癌進展機序の解明と、新たな術中転移抑制剤の開発	庄田 勝俊	消化器外科、乳腺・内分泌外科	1,170,000	補 (独) 日本学術振興会
Mesenchymal barrierの制御を標的とした頭頸部がん治療戦略	坂本 要	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,560,000	補 (独) 日本学術振興会
悪性IPMNの診断能向上と病態解明を目指した網羅的miRNA解析	深澤 佳満	消化器内科	1,820,000	補 (独) 日本学術振興会
肝癌の治療効果予測におけるハイスループット・リキッドバイオプシーシステムの構築	村岡 優	消化器内科	2,340,000	補 (独) 日本学術振興会
クロザピン抵抗性統合失調症に対するDAAO阻害と脳内グルタミン酸	岩田 祐輔	精神科	1,300,000	補 (独) 日本学術振興会
脳型脂肪酸結合蛋白質制御が脳梗塞後神経幹細胞移植治療に及ぼす効果の検討	福田 憲人	脳神経外科	1,450	補 (独) 日本学術振興会
がん悪液質によるグリコカリックス破壊と体液貯留の機序の解明	熊倉 康友	麻酔科	3,770,000	補 (独) 日本学術振興会
マウス大脳における排尿回路の解明、排尿行動への応用	望月 孝規	泌尿器科	1,430,000	補 (独) 日本学術振興会
高リスク加齢黄斑変性に対するプロルシズマブを用いた個別化医療の探求	菊島 渉	眼科	910,000	補 (独) 日本学術振興会
小型深度カメラを用いた体表位置照合に基づく新規画像誘導放射線治療手法の開発	齋藤 正英	放射線科	2,340,000	補 (独) 日本学術振興会
好中球を標的とした重症薬疹の治療機序解明と治療戦略の創出	木下 真直	皮膚科	2,340,000	補 (独) 日本学術振興会
MAIT細胞による脳血管性認知症の病態制御機構の解明と新規治療開発の基盤的研究	木内 博之	脳神経外科	3,770,000	補 (独) 日本学術振興会
血小板のリンパ組織発生における役割:生理活性物質の運び手としての血小板	井上 克枝	検査部	2,600,000	補 (独) 日本学術振興会
皮膚resident memory T細胞の人為的制御および皮膚疾患予防への応用	川村 龍吉	皮膚科	1,690,000	補 (独) 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
稀少な遺伝子異常を有する肺癌に対する治療戦略の開発	副島 研造	呼吸器内科	2,990,000	補 (独) 日本学術振興会
老化関連分子から見た原発性肝癌の新たな理解と分子標的薬治療反応性の統合的基盤研究	榎本 信幸	消化器内科	6,500,000	補 (独) 日本学術振興会
COVID-19 感染による血栓症発症・増悪機転の解明と治療介入の可能性の解明	井上 克枝	検査部	4,550,000	委 国立大学法人 浜松医科大学
ウイルス性肝炎の薬剤耐性が及ぼす病態変化に関する研究	鈴木 雄一朗	消化器内科	800,000	委 武蔵野赤十字病院
血清・肝組織の網羅的グライコミクス等による、肝線維化の病態を効率的に評価・予後予測するバイオマーカーの探索	前川 伸哉	消化器内科	1,040,000	委 国立大学法人北海道大学
早期非小細胞肺癌に対する体幹部定位放射線治療線量増加ランダム化比較試験	大西 洋	放射線科	650,000	委 国立大学法人広島大学
吸収性スぺーサーを用いた体内空間可変技術の定位放射線治療への展開	大西 洋	放射線治療科・放射線診断科	1,300,000	委 国立大学法人神戸大学
性分化疾患・性成熟疾患に対する医療最適化に向けてのエビデンス創出	三井 貴彦	泌尿器科	910,000	委 国立研究開発法人国立成育医療研究センター
未診断疾患イニシアチブ(Initiative on Rare and Undiagnosed Diseases: IRUD): 希少未診断疾患に対する診断プログラムの開発に関する研究	矢ヶ崎 英晃	小児科	3,900,000	委 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
自家心臓線維芽細胞による心不全患者に対する再生医療のfirst-in-human臨床試験	佐藤 明	循環器内科	26,035,204	委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
次世代シークエンス技術を基盤としたC型肝炎ウイルス排除後における肝癌出現機序・病態変化の解明とバイオマーカーの開発	榎本 信幸	消化器内科	18,380,000	委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
持続可能で先進的なてんかん医療と遠隔医療を用いたデータベースの確立に関する研究	加賀 佳美	小児科	1,000,000	委 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
重症不妊症患者に対するタクロリムスの多施設共同2用量単群比較試験	吉野 修	産婦人科	650,000	委 国立研究開発法人国立成育医療研究センター
インターフェロンフリー治療がC型肝炎変換患者の予後を含めたアウトカムに与える影響を明らかにする研究	榎本 信幸	消化器内科	1,040,000	委 国立大学法人大阪大学
B型肝炎培養細胞、抗ウイルス応答細胞モデルを用いた創薬シーズ化合物の大規模探索	榎本 信幸	消化器内科	5,200,000	委 国立大学法人北海道大学
ヒトリコンビナントMMP-7(KTP-001)を用いた腰椎椎間板ヘルニアに対する医師主導治験	波呂 浩孝	整形外科	103,933,000	委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
難治性急性リンパ性白血病に対する新規予防・治療薬の開発	犬飼 岳史	小児科	200,000	委 国立大学法人筑波大学
テイラーメイドエクソソームによる脳梗塞新規治療の開発	上野 祐司	神経内科	6,078,800	委 (国研) 科学技術振興機構
放射線療法の提供体制構築に資する研究	大西 洋	放射線治療科・放射線診断科	560,000	補 厚生労働省
山梨県におけるスモン患者の病態	新藤 和雅	神経内科	300,000	補 厚生労働省
運動失調症の医療水準、患者QOLの向上に資する研究班	瀧山 嘉久	神経内科	700,000	補 厚生労働省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
原発性脂質異常症に関する調査研究	土橋 一重	小児科	200,000	補	厚生労働省
医療安全支援センターの機能評価及び質改善のためのICTを用いた地域連携と情報収集の体制構築に関する研究	荒神 裕之	医療の質・安全管理部	969,000	補	厚生労働省
重症多形滲出性紅斑に関する調査研究	川村 龍吉	皮膚科	100,000	補	厚生労働省

計 112件

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Yamauchi, Kozue; Sato, Mitsuaki, et al.	消化器内科	Analysis of direct-acting antiviral-resistant hepatitis C virus haplotype diversity by single-molecule and long-read sequencing	HEPATOLOGY COMMUNICATIONS 2022 Jul;6(7):1634-1651.	Original Article
2	Takano S, Fukasawa M, et al.	消化器内科	Endoscopic ultrasound-guided fine-needle aspiration of periarterial tumor extension from mucinous cystic carcinoma	Endoscopy. 2023 Dec;55(S01):E678-E679.	Others
3	Suzuki Y, Maekawa S,et al.	消化器内科	Effect of a combination of pemafibrate and a mild low-carbohydrate diet on obese and non-obese patients with metabolic-associated fatty liver disease.	J Gastroenterol Hepatol. 2023 Jun;38(6):921-929. doi: 10.1111/jgh.16154. Epub 2023 Mar 5.	Original Article
4	Komiyama Y, Motosugi U,et al.	消化器内科	Early diagnosis of hepatic inflammation in Japanese nonalcoholic fatty liver disease patients using 3D MR elastography	Hepatol Res. 2023 Mar;53(3):208-218. doi: 10.1111/hepr.13858. Epub 2022 Nov 24.	Original Article
5	Hayakawa H, Fukasawa M, et al.	消化器内科	Carcinoembryonic antigen levels in pancreatic juice are associated with histological subtypes of intraductal papillary mucinous neoplasm of the pancreas	DEN Open. 2022 Oct 11;3(1):e169. doi: 10.1002/deo2.169. eCollection 2023 Apr.	Original Article
6	Harai S, Fukasawa M,et al.	消化器内科	Pancreatic duct stenting by the rendezvous technique from the minor to major papilla for severe pancreatitis due to papillary stenosis after endoscopic papillectomy	Endoscopy. 2023 Dec;55(S01):E127-E128. doi: 10.1055/a-1952-0436. Epub 2022 Oct 17.	Others
7	Tanimoto Y, Harai S,et al.	消化器内科	Electrohydraulic lithotripsy using peroral cholangioscopy for impaction of stent-stone complex around biliary plastic stent.	Endoscopy. 2022 Dec;54(S02):E920-E922. doi: 10.1055/a-1858-5028. Epub 2022 Jul 5.	Original Article
8	Takano S, Fukasawa M, Enomoto N.	消化器内科	Molecular assessment of endoscopically collected pancreatic juice and duodenal fluid from patients with pancreatic diseases.	Dig Endosc. 2023 Jan;35(1):19-32. doi: 10.1111/den.14371. Epub 2022 Aug 3.	Review
9	Fujioka, Daisuke; Watanabe, Yosuke, et al.	循環器内科	Group V Secretory Phospholipase A(2) Regulates Endocytosis of Acetylated LDL by Transcriptional Activation of PGK1 in RAW264.7 Macrophage Cell Line	JOURNAL OF ATHEROSCLEROSIS AND THROMBOSIS 2022 May 1;29(5):692-718.	Original Article
10	Horikoshi, Takeo; Nakamura, Takamitsu,et al.	循環器内科	A Stratified Analysis of the Risk Associated With Low Body Mass Index for Patients After Percutaneous Coronary Intervention	JOURNAL OF ATHEROSCLEROSIS AND THROMBOSIS 2023 May 1;30(5):502-514.	Original Article
11	Horikoshi, Takeo; Nakamura, Takamitsu; et al.	循環器内科	Prognostic Value of Novel Natriuretic Peptide Index After Percutaneous Coronary Intervention	CIRCULATION JOURNAL 2023 Jan 25;87(2):296-305.	Original Article
12	Yoshinori Uchida, Kenzo Soejima	呼吸器内科	Clinical characteristics of patients simultaneously diagnosed with lung cancer and active pulmonary tuberculosis in countries where tuberculosis is moderately endemic	Translational Cancer Research•2022 August	Others

13	Harai, Nozomi; Nishimura, Akihiro, et al.	糖尿病・内分泌内科	Factors affecting glycemic control in diabetes mellitus complicated by autoimmune pancreatitis	JOURNAL OF DIABETES INVESTIGATION 2022 Aug;13(8):1387-1395.	Original Article
14	Kobayashi, Hidetoshi; Uchimura, Kohei, et al.	糖尿病・内分泌内科	Intelectin1 ameliorates macrophage activation via inhibiting the nuclear factor kappa B pathway	ENDOCRINE JOURNAL 2022 May 30;69(5):539-546.	Original Article
15	Hayashida, Ryosuke; Tsuchiya, Kyoichiro, et al.	糖尿病・内分泌内科	A Clinical Case of Insulinoma Presenting with Postprandial Hypoglycemia in a Patient with a History of Gastric Bypass Surgery	INTERNAL MEDICINE 2022 Apr 15;61(8):1189-1195.	Original Article
16	Tsuchiya, Kyoichiro	糖尿病・内分泌内科	Cardiovascular complications in insulin resistance and endocrine diseases	ENDOCRINE JOURNAL 2023 Mar 28;70(3):249-257.	Review
17	Harai, Nozomi; Ichijo, Masashi, et al.	糖尿病・内分泌内科	Gaucher Disease Type I and III Responded Well to Substrate Reduction Therapy Using Eliglustat	INTERNAL MEDICINE 2023 Mar 8;doi: 10.2169/internalmedicine.1425-22.	Original Article
18	Tsuchiya, Kyoichiro	糖尿病・内分泌内科	Role of insulin action in the pathogenesis of diabetic complications	Diabetology International 2022 Sep 7;13(4):591-598.	Review
19	Tsuchiya, Kyoichiro; Uchinuma, Hiroyuki	糖尿病・内分泌内科	Correction to: Response to Comment on "Gestational body weight gain and risk of low birth weight or macrosomia in women of Japan: a nationwide cohort study"	International Journal of Obesity 2022 Aug;46(8):1565.	Original Article
20	Uchinuma, Hiroyuki; Tsuchiya, Kyoichiro, et al	糖尿病・内分泌内科	Correction: Gestational body weight gain and risk of low birth weight or macrosomia in women of Japan: a nationwide cohort study	International Journal of Obesity 2022 June;46(6):1251.	Original Article
21	Sekine, Tetsuo; Tsuchiya, Kyoichiro, at al.	糖尿病・内分泌内科	Association between maternal gestational diabetes mellitus and high-sensitivity C-reactive protein levels in 8-year-old children: The Yamanashi Adjunct Study of the Japan Environment and Children's Study (JECS)	JOURNAL OF DIABETES INVESTIGATION 2022 Aug;13(8):1444-1447.	Original Article
22	Sekine, Tetsuo; Tsuchiya, Kyoichiro, at al.et al.	糖尿病・内分泌内科	Association of glycated hemoglobin at an early stage of pregnancy with the risk of gestational diabetes mellitus among non-diabetic women in Japan: The Japan Environment and Children's Study	JOURNAL OF DIABETES INVESTIGATION 2022 Apr;13(4):687-695.	Original Article
23	Kobayashi H, Uchimura K, et al.	腎臓内科	Intelectin1 ameliorates macrophage activation via inhibiting the nuclear factor kappa B pathway	ENDOCRINE JOURNAL 2022 May 30;69(5):539-546.	Original Article
24	Hanai S, Ogawa Y, et al.	リウマチ膠原病内科	Unusual enthesitis in a patient with Behçet's syndrome.	Clin Rheumatol. 2023 Feb 21. doi: 10.1007/s10067-023-06549-0.	Original Article
25	Hanai S, Kobayashi Y, et al.	リウマチ膠原病内科	Thrombotic microangiopathy with refractory lupus nephritis successfully treated by combining rituximab with belimumab.	Scand J Rheumatol. 2023 Mar;52(2):227-229. doi: 10.1080/03009742.2022.2140483. Epub 2022 Nov 21.	Original Article
26	Hanai S, Kobayashi K, et al.	リウマチ膠原病内科	Internal Hemorrhaging of Hepatic Hemangioma Presenting with a Fever.	Intern Med. 2022 May 1;61(9):1475-1476. doi: 10.2169/internalmedicine.7530-21. Epub 2021 Oct 19.	Original Article

27	Hata, Takanori, Nan, Haitian, et al.	神経内科	A clinical and genetic study of SPG31 in Japan	JOURNAL OF HUMAN GENETICS 2022 Jul;67(7):421-425.	Original Article
28	Natori, Takahiro; Fukao, Toko; et al.	神経内科	Repeated Brain Magnetic Resonance Imaging Provides Clues for the Diagnosis of Autoimmune Glial Fibrillary Acid Protein Astrocytopathy	INTERNAL MEDICINE 2022 Oct 1;61(19):2947-2950.	Original Article
29	Morisima Yuto. Ueno Y, et al.	神経内科	Recurrent embolic stroke associated with adenomyosis:	Neurological Sciences 2023 Feb Jul;44(7):2421-2429.	Original Article
30	Koshiishi, Megumi; Kawashima, Ichiro; et al.	血液・腫瘍内科	Presence of bone marrow fibrosis in multiple myeloma may predict extramedullary disease	INTERNATIONAL JOURNAL OF HEMATOLOGY 2022 Oct;116(4):544-552.	Original Article
31	Kirito, K	血液・腫瘍内科	Recent progress of JAK inhibitors for hematological disorders.	Immunol Med. 2022 Oct 28;1-12. doi: 10.1080/25785826.2022.2139317.	Review
32	Kawashima I, Oishi N, et al.	血液・腫瘍内科	Transdifferentiation of mantle cell lymphoma into sarcoma with limited neuromuscular differentiation after conventional chemotherapy.	Virchows Arch. 2022 May;480(5):1101-1105. doi: 10.1007/s00428-021-03148-9.	Case report
33	Kaga, Yoshimi; Ohyama, Tetsuo; et al.	小児科	Impairment of autonomic emotional response for executive function in children with ADHD: A multi-modal fNIRS and pupillometric study during the Wisconsin Card Sorting Test	BRAIN & DEVELOPMENT 2022 Aug;44(7):438-445.	Original Article
34	Narusawa, Hiromune; Sasaki, Sunao; et al.	小児科	A boy with overgrowth caused by multi-locus imprinting disturbance including hypomethylation of MEST:alt-TSS-DMR	EUROPEAN JOURNAL OF MEDICAL GENETICS 2022 Jun;65(6):104502.	Original Article
35	Tamai, Minoru; Kasai, Shin, et al.	小児科	Glucocorticoid receptor gene mutations confer glucocorticoid resistance in B-cell precursor acute lymphoblastic leukemia	JOURNAL OF STEROID BIOCHEMISTRY AND MOLECULAR BIOLOGY 2022 Apr;218:106068.	Original Article
36	Watanabe, Yuriko; Sano, Fumikazu; et al.	小児科	Arterial spin labeling perfusion imaging in an infant with anti-N-methyl-D-aspartate receptor encephalitis: A case report	BRAIN & DEVELOPMENT 2022 Jun;44(6):405-409.	Original Article
37	Yagasaki, Hideaki; Sano, Fumikazu; et al.	小児科	Compound heterozygous variants of the NARS2 gene in siblings with developmental delay, epilepsy, and neonatal diabetes syndrome	AMERICAN JOURNAL OF MEDICAL GENETICS PART A 2022 Aug;188(8):2466-2471.	Original Article
38	Watanabe D, Yagasaki H, et al.	小児科	Eighteen-years follow-up of congenital hypothyroidism by TSHR gene p.Arg109Gln and p.Arg450His variants.	Nagoya J Med Sci. 2023 May;85(2):369-374. doi: 10.18999/nagjms.85.2.369.	Original Article
39	Sunaga, Yuto; Watanabe, Atsushi; et al.	小児科	A simple scoring model based on machine learning predicts intravenous immunoglobulin resistance in Kawasaki disease	CLINICAL RHEUMATOLOGY 2023 May;42(5):1351-1361.	Original Article
40	Kono Y, Sano F, et al.	小児科	Status epilepticus as the first symptom in a patient with coronavirus disease 2019	Status epilepticus as the first symptom in a patient with coronavirus disease 2019.	Original Article

41	Masashi Yoshizawa , Isato Fukushi , et al.	小児科	Role of microglia in blood pressure and respiratory responses to acute hypoxic exposure in rats.	The journal of physiological sciences : JPS, 72(1), 26	Original Article
42	Ishiguro H., Kibret BG., et al.	精神科	Potential Role of Cannabinoid Type 2 Receptors in Neuropsychiatric and Neurodegenerative Disorders	Front Psychiatry. 2022;13	Original Article
43	Takefumi Suzuki	精神科	Predicting psychotic relapse following paliperidone discontinuation	Lancet Psychiatry. 2023 Mar;10(3):157-158	Others
44	Takashi Hirata, Kazuyuki Yasuda, et al.	精神科	Catheter-related bloodstream infection in patients With severe anorexia nervosa	Perspect Psychiatr Care. 2022 Oct;58(4):2224-2227	Original Article
45	Asakawa, Riko; Ogawa, Youichi; et al.	皮膚科	Case of bullous pemphigoid refractory to corticosteroids by antiepileptic drug-induced CYP3A4	JOURNAL OF DERMATOLOGY 2023 Feb;50(2):254-257.	Original Article
46	Maejima, Eri; Oishi, Naoki; et al.	皮膚科	Cutaneous involvement of high-grade B-cell lymphoma with MYC and BCL6 rearrangements: A case report	JOURNAL OF DERMATOLOGY 2023 Mar 8.	Original Article
47	Minai, Lisa; Takeichi, Takuya; et al.	皮膚科	Development of pemphigus vegetans and exacerbation of pemphigus foliaceus after secukinumab loading in a patient with complicated generalized pustular psoriasis and pyoderma gangrenosum	JOURNAL OF DERMATOLOGY 2023 Feb;50(2):245-249.	Original Article
48	Sato, Takuya; Ogawa, Youichi; et al.	皮膚科	Characterization of human epithelial resident memory regulatory T cells	FRONTIERS IN IMMUNOLOGY	Original Article
49	Okamoto, T.; Kawai, M.; et al.	皮膚科	Artificial intelligence for the automated single-shot assessment of psoriasis severity	JOURNAL OF THE EUROPEAN ACADEMY OF DERMATOLOGY AND VENEREOLOGY 2022 Dec;36(12):2512-2515.	Original Article
50	Mizutani M, Mitsui H, et al.	皮膚科	Two cases of axillary lymphadenopathy diagnosed as diffuse large B-cell lymphoma developed shortly after BNT162b2 COVID-19 vaccination	J Eur Acad Dermatol Venereol. 2022, 36, e613-615	Original Article
51	Tanaka K, Mitsui H, et al.	皮膚科	Two cases of acquired hypertrichosis lanuginosa: rare association with gastric cancer.	2022, J Eur Acad Dermatol Venereol. 36, e306-308	Original Article
52	Mitsui H, Miyajima-Watanabe S, et al.	皮膚科	A case of breast carcinoma mimicking dermatofibroma	Int J Dermatol. 2022 Jul;61(7):e264-e266.	Original Article
53	Sato T, Ogawa Y, et al.	皮膚科	Revisiting the Experimental Methods for Human Skin T-Cell Analysis	JID Innov. 2022 Mar 23;2(4):100125.	Original Article
54	Ogawa Y, Kinoshita M, et al.	皮膚科	Intracellular TLRs of Mast Cells in Innate and Acquired Immunity	Handb Exp Pharmacol. 2022;276:133-159.	Original Article

55	Minai L, Ogawa Y, et al.	皮膚科	Case of trigeminal trophic syndrome secondary to endovascular treatment for internal carotid artery aneurysm	J Dermatol. 2022 Jun;49(6):e212-e214	Original Article
56	Minami Y, Okamoto T, et al.	皮膚科	Phakomatosis pigmentovascularis type IIb with Klippel-Trenaunay syndrome: Association with GNAQ mutation in vascular endothelial cells	J Dermatol. 2022 Jul 29	Original Article
57	Katsutoshi Shoda, Yuki Kuwano, et al.	消化器外科、乳腺・内分泌外科	circRNA:A New Biomarker and Therapeutic Target for Esophageal Cancer	Biomedicine 2022;10(7): 1643, 2022	Original Article
58	Tsuyoshi UCHIDA, Hirochika MATSUBARA, et al.	心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科	Pneumothorax in a child due to physical irritation caused by an implantable cardioverter-defibrillator	BMJ case reports 2022 Apr;15(4):e249878	Original Article
59	Tsuyoshi UCHIDA, Hirochika MATSUBARA, et al.	心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科	Robot-assisted thoracic surgery is effective for right upper lobectomy in cases with a rare variation pattern of the pulmonary veins	BMJ case reports 2022 Apr;15(4):e249909	Original Article
60	Daisuke SATO, Hirochika MATSUBARA, et al.	心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科	Lepidic growth component as a favorable prognostic factor in non-small cell lung cancer of $\leq 3$ cm	Thoracic Cancer 2022 Dec;13(23):3274-3283.	Original Article
61	Tsuyoshi UCHIDA, Hirochika MATSUBARA, et al.	心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科	Long-term survival of a patient with lung cancer treated with pembrolizumab after recurrent cardiac tamponade	Clinical Case Reports 2022 Dec;10(12):e6795	Original Article
62	Daisuke SATO, Asami IZU, et al.	心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科	A neuroendocrine tumor within an anterior mediastinal mature teratoma: a case report	Journal of Cardiothoracic Surgery 2022 Dec;17(1):333	Original Article
63	Kenji SAKAKIBARA, Hiroyuki NAKAJIMA, et al.	心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科	A case of Candida parapsilosis bioprosthetic valve endocarditis	Clinical Case Reports 2023 Feb;11(2):e6950	Original Article
64	Yuichiro ONUKI, Hirochika MATSUBARA, et al.	心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科	Prognostic evaluation of preoperative serum tumormarker-negative cases in non-small cell lung cancer:A retrospective study	Cancer Reports 2023 Feb;6(2):e1696	Original Article
65	Ichikawa, Jiro; Kawasaki, Tomonori; et al.	整形外科	Case report: Atypical spindle cell/pleomorphic lipomatous tumor masquerading as a myxoid liposarcoma or intramuscular myxoma	FRONTIERS IN ONCOLOGY	Original Article
66	Koyama, Kensuke; Wako, Masanori; et al.	整形外科	Is histopathological synovitis score a predictor of postoperative requirement for additional or alternative drug treatment in the patients with rheumatoid arthritis?	MODERN RHEUMATOLOGY	Original Article
67	Ohba, Tetsuro; Goto, Go;	整形外科	Upper Extremity Skeletal Muscle Mass Asymmetry Exacerbated by Shoulder Imbalance in Lenke1A Adolescent Idiopathic Scoliosis	JOURNAL OF CLINICAL MEDICINE	Original Article
68	Taniguchi, Naofumi; Jinno, Tetsuya; et al.	整形外科	Differences of 2-year longitudinal changes of locomotive syndrome among patients treated with thoracolumbar interbody fusion, total hip arthroplasty, and total knee arthroplasty for degenerative diseases	MODERN RHEUMATOLOGY	Original Article

69	Wako, Masanori; Fujimaki, Taro; et al.	整形外科	A cross-sectional study on the correlations between floating toe, plantar arch posture, and body composition in 8-year-old children	FOOT AND ANKLE SURGERY	Original Article
70	Ichikawa J, Kawasaki T, et al.	整形外科	Spindle Cell Lipoma with Ossification Mimicking Atypical Lipomatous Tumor/Well-Differentiated Liposarcoma: A Case Report.	Int J Surg Pathol.	Original Article
71	Ohba T, Koyama K, et al.	整形外科	Clinical Importance, Incidence and Risk Factors for the Development of Postoperative Ileus Following Adult Spinal Deformity Surgery.	Global Spine J.	Original Article
72	Ohba T	整形外科	The Essence of Clinical Practice Guidelines for Lumbar Disc Herniation, 2021: 2. Pathological Condition	Spine Surg Relat Res	Original Article
73	Wako M, Kono H, et al.	整形外科	The Anatomical Position of Graf's Standard Plane and Its Relationship With Pelvic Morphology: A Computed Tomography-Based Study.	Cureus.	Original Article
74	Wako M, Koyama K, et al.	整形外科	Relationship between floating toes condition and lower limb muscle weight in 8-year-old children: the Yamanashi adjunct study of the Japan Environment and Children's Study (JECS-Y).	J Phys Ther Sci.	Original Article
75	Ichikawa J, Imada H, et al.	整形外科	Commentary: Synovial sarcoma of the head and neck: A review of reported cases on the clinical characteristics and treatment methods	Frontiers in Cell and Developmental Biology	Original Article
76	Ichikawa J, Imada H, et al.	整形外科	Commentary: Case report: Primary intraosseous poorly differentiated synovial sarcoma of the femur	Frontiers in Oncology	Original Article
77	Ichikawa J, Schoenecker J, et al.	整形外科	Advancing Tissue Factor-targeted Therapy for Osteosarcoma via Understanding its Role in the Tumor Microenvironment	Curr Pharm Des	Original Article
78	Natsumi Baba, MD, Ryo Horiuchi, MD, et al.	脳神経外科	Spinal glomus AVM presenting solely with groin pain: illustrative case	Journal of Neurosurg Case Lessons vol3 No24 22105, 2022/6/13	Original Article
79	Mika Kaneko, MD, Toru Tateoka, MD, et al.	脳神経外科	Recurring cervical internal carotid artery vasospasm elicited by head rotation: illustrative case	Journal of Neurosurg Case Lessons vol4 No6 22254, 2022/8/8	Original Article
80	Yohei Kagami, MD, Ryu Saito, MD, et al.	脳神経外科	Nonconvulsive status epilepticus due to pneumocephalus after suprasellar arachnoid cyst fenestration with transsphenoidal surgery: illustrative case	Journal of Neurosurg Case Lessons vol4 No1 22167, 2022/7/4	Original Article
81	Yuki Aonuma, MD, Hideyuki Yoshioka, MD, et al.	脳神経外科	Endovascular Flow Diversion for Hemifacial Spasm Due to an Unruptured Fusiform Vertebral Artery Aneurysm: A Case Report	NEUROSURGERY PRACTICE Vol4 No1 00027, 2023/1/6	Original Article
82	Kobayashi, Hiroki; Asano, Nobumasa; et al.	麻酔科	Influence of pneumoperitoneum and head-down maneuver on the cerebral microvasculature in rabbits	BMC ANESTHESIOLOGY 2022 Dec 1;22(1):370.	Original Article

83	Kondo, Daisuke; Asano, Nobumasa; et al.	麻酔科	Effects of adrenaline and vasopressin on cerebral microcirculation at baseline and during global brain ischemia and reperfusion in rabbits	BMC ANESTHESIOLOGY 2022 Dec 8;22(1):380.	Original Article
84	Mitsui, Kazuha; Kotoda, Masakazu; et al.	麻酔科	Propofol ameliorates ischemic brain injury by blocking TLR4 pathway in mice	TRANSLATIONAL NEUROSCIENCE 2022 Sep 1;13(1):246-254.	Original Article
85	Muroya, Kenji; Ueda, Kenta; et al.	麻酔科	Novel ultrashort-acting benzodiazepine remimazolam lowers shivering threshold in rabbits	FRONTIERS IN PHARMACOLOGY 2022 Oct 14;13:1019114.	Original Article
86	Nakadate, Yosuke; Kawakami, Akiko; et al.	麻酔科	PI3K/Akt pathway mediates the positive inotropic effects of insulin in Langendorff-perfused rat hearts	SCIENTIFIC REPORTS 2022 Jun 13;12(1):9793.	Original Article
87	Nakadate, Yosuke; Nakajima, Emi; et al.	麻酔科	Anesthetic experience does not reduce accidental dural puncture in surgical patients: a retrospective case-controlled study	BMC ANESTHESIOLOGY 2022 May 10;22(1):139.	Original Article
88	Keisuke, Omiya; Hiroaki, Sato; et al.	麻酔科	Epidural anesthesia and intraoperative insulin sensitivity	Journal of Anesthesia 2022 Oct;36(5):661-662	Original Article
89	Keisuke, Omiya; Yosuke, Nakadate; et al.	麻酔科	Cardioprotective effects of enteral vs. parenteral lactoferrin administration on myocardial ischemia-reperfusion injury in a rat model of stunned myocardium	BMC Pharmacol Toxicol 2022 Oct 14;23(1):78	Original Article
90	Yoshino, Osamu; Takahashi, Noriko; et al.	産婦人科	Menstrual Symptoms, Health-Related Quality of Life, and Work Productivity in Japanese Women with Dysmenorrhea Receiving Different Treatments: Prospective Observational Study	ADVANCES IN THERAPY 2022 Jun;39(6):2562-2577.	Original Article
91	Yoshino, Osamu; Suzukamo, Yoshimi; et al.	産婦人科	Quality of Life in Japanese Patients with Dysmenorrhea or Endometriosis-Associated Pelvic Pain Treated with Extended Regimen Ethinylestradiol/Drospirenone in a Real-World Setting: A Prospective Observational Study	ADVANCES IN THERAPY 2022 Nov;39(11):5087-5104.	Original Article
92	Ono Y, Sakurai Y, et al.	産婦人科	Hysteroscopic resection with temporary balloon catheter occlusion of bilateral internal iliac arteries for managing retained products of conception after spontaneous abortion: Two cases report	J Obstet Gynaecol Res. 2023 Feb;49(2):753-758.	Original Article
93	Ono Y, Sakurai Y, et al.	産婦人科	Influence of laparoscopic surgery for endometriosis and its recurrence on perinatal outcomes.	Reprod Med Biol. 2022 Apr 6;21(1):e12456. doi: 10.1002	Original Article
94	Yosuke Ono, Hajime Ota, et al.	産婦人科	Effectiveness of Laparoscopic Adenomyomectomy on Perinatal Outcomes.	Gynecology and Minimally Invasive Therapy (); Jan 17, 2023.	Original Article
95	Midori Hara, Satoru Kira, et al.	泌尿器科	Neuroendocrine prostate cancer treated with multimodal examination and therapy: A case report	Urology Case Report 2022/7/8 No44,	Original Article
96	Nguyen Xuong Duong, Minh-Khang Le, et al.	泌尿器科	Heterogeneity of Hippo signalling activity in different histopathologic subtypes of renal cell carcinoma	Journal of Cellular and Molecular Medicine 1582-4934) 2022/12/7	Original Article

97	Hosoda, Shuhei; Sakurada, Yoichi; et al.	眼科	Cuticular drusen presenting with central serous chorioretinopathy in both eyes: A case report	MEDICINE 2022 Dec 2;101(48):e32032	Original Article
98	Kikushima, Wataru; Sakurada, Yoichi; et al.	眼科	Characteristics of Grape Shelf Eye Injuries at Vineyards in Japan	JOURNAL OF CLINICAL MEDICINE 2022 Nov 29;11(23):7079	Original Article
99	Kikushima, Wataru; Sakurada, Yoichi; et al.	眼科	Characteristics of intermediate age-related macular degeneration with hyperreflective foci	SCIENTIFIC REPORTS 2022 Nov 1;12(1):18420	Original Article
100	Kitamura, Kazuyoshi; Fukuda, Yoshiko; et al.	眼科	Mid-Term Results of Ab Interno Trabeculectomy among Japanese Glaucoma Patients	JOURNAL OF CLINICAL MEDICINE 2023 Mar 16;12(6):2332.	Original Article
101	Mabuchi, Fumihiko; Mabuchi, Nakako; et al.	眼科	Genetic variants associated with glaucomatous visual field loss in primary open-angle glaucoma	SCIENTIFIC REPORTS 2022 Dec 1;12(1):20744	Original Article
102	Yoneyama, Seigo; Fukui, Ayumi; et al.	眼科	Distinct characteristics of central serous chorioretinopathy according to gender	SCIENTIFIC REPORTS 2022 Jun 22;12(1):10565	Original Article
103	Yoneyama, Seigo; Fukui, Ayumi; et al.	眼科	DISTINCT CHARACTERISTICS OF SIMPLE VERSUS COMPLEX CENTRAL SEROUS CHORIORETINOPATHY	RETINA-THE JOURNAL OF RETINAL AND VITREOUS DISEASES 2023 Mar 1;43(3):389-395.	Original Article
104	Satoshi Igarashi Tomokazu Matsuoka, et al.	頭頸部・耳鼻咽喉科	Early Intervention with Fluticasone Furoate for Nasal Symptoms and Sleep Disturbance in Patients with Japanese Cedar Pollinosis Early Intervention with Fluticasone Furoate for Nasal Symptoms and Sleep Disturbance in Patients with Japanese Cedar Pollinosis	Practica Oto-Rhino-Laryngologica 115(12):1039-1046 doi:10.5631/jibirin.115.1039	Original Article
105	Arisa Kinouchi Hiroki Ishii, et al.	頭頸部・耳鼻咽喉科	Successful desensitization after hypersensitivity reaction to cisplatin in a patient with nasopharyngeal carcinoma	Clin Case Rep. 2022 oct;10(10):e6444. doi: 10.1002/ccr3.6444	Original Article
106	Daiju Sakurai Hiroki Ishii, et al.	頭頸部・耳鼻咽喉科	Sublingual Immunotherapy for Japanese Cedar Pollinosis: Current Clinical and Research Status.	Pathogens. 2022 Nov 9;11(11):1313. doi: 10.3390/pathogens11111313.	Others
107	Tomokazu Matsuoka Satoko Kobayashi, et al.	頭頸部・耳鼻咽喉科	Immunological changes over three years treatment with Japanese cedar SLIT drops in mono-sensitized and poly-sensitized individuals.	Allergol Int. 2022 Jul;71(3):405-408. doi: 10.1016/j.alit.2021.11.008.	Original Article
108	Saito, Masahide; Suzuki, Toshihiro; et al.	放射線治療科、放射線診断科	Minimum Required Interval Between Hydrogel Spacer Injection and Treatment Planning for Stereotactic Body Radiation Therapy for Prostate Cancer	PRACTICAL RADIATION ONCOLOGY 12 (6): e556-e559	Original Article
109	Morisaka, Hiroyuki; Marino, Kan	放射線治療科、放射線診断科	Hydrogel Spacer Migration Into Periprostatic Venous Plexus	AMERICAN JOURNAL OF ROENTGENOLOGY 218 (4): 757	Original Article
110	Zhe, Chen; Nonaka, Hotaka; et al.	放射線治療科、放射線診断科	Impact of Systemic Autoimmune Diseases on Treatment Outcomes and Radiation Toxicities in Patients with Stage I Non-Small Cell Lung Cancer Receiving Stereotactic Body Radiation Therapy: A Matched Case-Control Analysis	CANCERS(BASEL) 218 (4): 757	Original Article

111	Zhe, Chen; Kuriyama, Kengo; et al.	放射線治療科、放射線診断科	Anatomy-based prediction method for determining ipsilateral lung doses in postoperative breast radiation therapy assisted by diagnostic computed tomography images	REPORTS OF PRACTICAL ONCOLOGY AND RADIOLOGY: JOURNAL OF GREATPOLAND CANCER CENTER IN POZNAN AND POLISH SOCIETY OF RADIATION ONCOLOGY 27 (4): 699-706	Original Article
112	Satoh, Yoko; Hanaoka, Kohei; et al.	放射線治療科、放射線診断科	Organ-Specific Positron Emission Tomography Scanners for Breast Imaging: Comparison between the Performances of Prior and Novel Models	DIAGNOSTICS 2023 Mar 13;13(6):1079.	Original Article
113	Saito, Masahide; Kajihara, Daichi; et al.	放射線治療科、放射線診断科	Reproducibility of deep inspiration breath-hold technique for left-side breast cancer with respiratory monitoring device, Abches	JOURNAL OF APPLIED CLINICAL MEDICAL PHYSICS 2022 Apr;23(4):e13529.	Original Article
114	Saito, Masahide; Komiya, Komiyama, Takafumi; et al.	放射線治療科、放射線診断科	Dosimetric Effects of Differences in Multi-Leaf Collimator Speed on SBRT-VMAT for Central Lung Cancer Patients	TECHNOLOGY IN CANCER RESEARCH & TREATMENT 2022 Jan-Dec;21:1533033822119752.	Original Article
115	Saito, Masahide; Ueda, Koji; et al.	放射線治療科、放射線診断科	Evaluation of the detection accuracy of set-up for various treatment sites using surface-guided radiotherapy system, VOXELAN: a phantom study	JOURNAL OF RADIATION RESEARCH 2022 May 18;63(3):435-442.	Original Article
116	Satoh, Yoko; Imokawa, Tomoki; et al.	放射線治療科、放射線診断科	Deep learning for image classification in dedicated breast positron emission tomography (dbPET)	ANNALS OF NUCLEAR MEDICINE 2022 Apr;36(4):401-410.	Original Article
117	Satoh, Yoko; Imai, Masamichi; et al.	放射線治療科、放射線診断科	Effect of radioactivity outside the field of view on image quality of dedicated breast positron emission tomography: preliminary phantom and clinical studies	ANNALS OF NUCLEAR MEDICINE 2022 Dec;36(12):1010-1018.	Original Article
118	Satoh, Yoko; Imai, Masamichi; et al.	放射線治療科、放射線診断科	Image quality evaluation of real low-dose breast PET	JAPANESE JOURNAL OF RADIOLOGY 2022 Nov;40(11):1186-1193.	Original Article
119	Fujimoto, Kana; Fujii, Gento; et al.	歯科口腔外科	Highly sensitive sex determination method using the exon 1 region of the amelogenin gene	LEGAL MEDICINE 2022 Nov;59:102136.	Original Article
120	Ichikawa, Mai Koizumi; Endo, et al.	歯科口腔外科	Ets family proteins regulate the EMT transcription factors Snail and ZEB in cancer cells	FEBS OPEN BIO 2022 Jul;12(7):1353-1364.	Original Article
121	Moroi, A.; Takayama, A.; et al.	歯科口腔外科	Influence of lingual plate fracture pattern on remodelling site during the healing process of sagittal split ramus osteotomy	INTERNATIONAL JOURNAL OF ORAL AND MAXILLOFACIAL SURGERY 2022 May;51(5):651-658.	Original Article
122	Nguyen, Thao T. T.; Tamai, Minori; et al.	歯科口腔外科	Introduction of the T315I gatekeeper mutation of BCR/ABL1 into a Philadelphia chromosome-positive lymphoid leukemia cell line using the CRISPR/Cas9 system	INTERNATIONAL JOURNAL OF HEMATOLOGY 2022 Oct;116(4):534-543.	Original Article
123	Moroi, Akinori; Takayama, Akihiro; et al.	歯科口腔外科	Effects of ultraviolet irradiation on beta-tricalcium phosphate as a bone graft substitute	ODONTOLOGY 2022 Oct;110(4):682-696.	Original Article
124	Ueki, Koichiro; Takayama, Akihiro; et al.	歯科口腔外科	Computed Tomography Assessment of Maxillary Sinus and Inferior Nasal Airway After Le Fort I Osteotomy	JOURNAL OF CRANIOFACIAL SURGERY 2022 Sep 1;33(6):1835-1839.	Original Article

125	Yoshizawa, Kunio; Ando, Hidetoshi; et al.	歯科口腔外科	Automatic discrimination of Yamamoto-Kohama classification by machine learning approach for invasive pattern of oral squamous cell carcinoma using digital	ORAL SURGERY ORAL MEDICINE ORAL PATHOLOGY ORAL RADIOLOGY 2022 Apr;133(4):441-452.	Original Article
126	Yoshizawa, Kunio; Kimura, et al.	歯科口腔外科	Loss of intercellular bridges in the depth of invasion measurement area is a novel negative prognostic factor for oral squamous cell carcinoma: A retrospective study	ORAL SURGERY ORAL MEDICINE ORAL PATHOLOGY ORAL RADIOLOGY 2022 Jul;134(1):84-92.	Original Article
127	Yoshizawa, Kunio; Ishii, Hiroki; et al.	歯科口腔外科	NOODULAR IASCHUS ARISING FROM the buccal region after segmentectomy with rapid growth mimicking postirradiation myofibrosarcoma: A case	MEDICINE 2022 Sep 16;101(37):e30636.	Original Article
128	Yoshizawa, Masashi; Fukushi, Isato; et al.	歯科口腔外科	Role of microglia in blood pressure and respiratory responses to acute hypoxic exposure in rats	JOURNAL OF PHYSIOLOGICAL SCIENCES 2022 Oct 13;72(1):26.	Original Article
129	Odate, Toru; Le, Minh-Khang; et al.	病理診断科	Tumor-infiltrating lymphocytes in breast FNA biopsy cytology: a predictor of tumor-infiltrating lymphocytes in histologic evaluation	CANCER CYTOPATHOLOGY 2022 May;130(5):336-343.	Original Article
130	Yamada, Yuichi; Kinoshita, Izumi; et al.	病理診断科	Myxoid type and non-myxoid type of intimal sarcoma in large vessels and heart: review of histological and genetic profiles of 20 cases	VIRCHOWS ARCHIV 2022 Apr;480(4):919-925.	Original Article
131	Kiriya, Mitsuo; Kawashima, Akira; et al.	病理診断科	Thyroglobulin regulates the expression and localization of the novel iodide transporter solute carrier family 26 member 7 (SLC26A7) in thyrocytes	ENDOCRINE JOURNAL 2022 Oct 28;69(10):1217-1225.	Original Article
132	Vuong, Huy Gia; Le, Minh-Khang; et al.	病理診断科	The differences in distant metastatic patterns and their corresponding survival between thyroid cancer subtypes	HEAD AND NECK-JOURNAL FOR THE SCIENCES AND SPECIALTIES OF THE HEAD AND NECK 2022 Apr;44(4):926-932.	Original Article
133	Le, Minh-Khang; Odate, Toru; et al.	病理診断科	Clinical detection of "extremely low-risk" follicular thyroid carcinoma: A population-based study of 7304 patients	LARYNGOSCOPE INVESTIGATIVE OTOLARYNGOLOGY 2022 Jun 15;7(4):1235-1242.	Original Article
134	Le, Minh-Khang; Oishi, Naoki; et al.	病理診断科	Survival analyses of soft tissue pleomorphic sarcomas and a proposed leiomyosarcoma-specific dynamic nomogram: A large population-based study	PATHOLOGY RESEARCH AND PRACTICE 2022 Sep;237:153999.	Original Article
135	Vuong, Huy Gia; Le, Minh-Khang; et al.	病理診断科	A systematic review of the clinicopathological features and prognostic outcomes of DICER1-mutant malignant brain neoplasms	JOURNAL OF NEUROSURGERY-PEDIATRICS 2022 Jul 22;1-8.	Original Article
136	Le, Minh-Khang; Kawai, Masataka; et al.	病理診断科	Metastatic Risk Stratification of 2526 Medullary Thyroid Carcinoma Patients: A Study Based on Surveillance, Epidemiology, and End Results Database	ENDOCRINE PATHOLOGY 2022 Sep;33(3):348-358.	Original Article
137	Oishi, Naoki; Segawa, Takahiro; et al.	病理診断科	Incidence, clinicopathological features and genetics of in-situ follicular neoplasia: a comprehensive screening study in a Japanese cohort	HISTOPATHOLOGY 2022 Apr;80(5):820-826.	Original Article
138	Feldman, Andrew L.; Oishi, Naoki; et al.	病理診断科	Immunohistochemical Approach to Genetic Subtyping of Anaplastic Large Cell Lymphoma	AMERICAN JOURNAL OF SURGICAL PATHOLOGY 2022 Nov 1;46(11):1490-1499.	Original Article

139	Feldman, Andrew L.; Oishi, Naoki;	病理診断科	Immunohistochemical Approach to Genetic Subtyping of Anaplastic Large Cell Lymphoma	AMERICAN JOURNAL OF SURGICAL PATHOLOGY 2022 Nov 1;46(11):1490-1499.	Original Article
140	Oishi, Naoki; Satou, Akira; et al.	病理診断科	Genetic and immunohistochemical profiling of NK/T-cell lymphomas reveals prognostically relevant BCOR-MYC association	BLOOD ADVANCES 2023 Jan 10;7(1):178-189.	Original Article
141	Satoh, Yoko; Imokawa, Tomoki; et al.	病理診断科	Deep learning for image classification in dedicated breast positron emission tomography (dbPET)	ANNALS OF NUCLEAR MEDICINE 2022 Apr;36(4):401-410.	Original Article
142	Satoh, Yoko; Imai, Masamichi; et al.	病理診断科	Effect of radioactivity outside the field of view on image quality of dedicated breast positron emission tomography: preliminary phantom and clinical studies	ANNALS OF NUCLEAR MEDICINE 2022 Dec;36(12):1010-1018.	Original Article
143	Satoh, Yoko; Imai, Masamichi, et al.	病理診断科	Image quality evaluation of real low-dose breast PET	JAPANESE JOURNAL OF RADIOLOGY 2022 Nov;40(11):1186-1193.	Original Article
144	Satoh, Yoko; Hanaoka, Kohei; et al.	病理診断科	Organ Specific Positron Emission Tomography Scanners for Breast Imaging: Comparison between the Performances of Prior and Novel Models	DIAGNOSTICS 2022 Nov;40(11):1186-1193.	Original Article
145	Yamaguchi, Yohei; Odate, Toru; et al.	病理診断科	A rare case of intracytoplasmic mucin-rich nasopharyngeal carcinoma	DIAGNOSTIC CYTOPATHOLOGY 2022 Jun;50(6):E151-E155.	Original Article
146	Tachibana, Hidenobu; Watanabe, Yusuke; et al.	放射線技術部	Multi-Institutional Study of End-to-End Dose Delivery Quality Assurance Testing for Image-Guided Brachytherapy Using a Gel Dosimeter	BRACHYTHERAPY 2022 Nov-Dec;21(6):956-967.	Original Article
147	Shoji T, Muto R, et al.	薬剤部	Cost and healthcare utilization of methicillin-resistant Staphylococcus aureus bacteremia estimated from linked antimicrobial resistance surveillance and hospital claims data in Japan.	Antimicrob Steward Healthc Epidemiol. 2022 Aug 30;2(1):e147.	Original Article
148	Shoji T, Muto R, et al.	薬剤部	Estimated medical costs of methicillin-resistant Staphylococcus aureus infection classified by polymerase chain reaction-based open reading frame typing in Japan.	AIMS Microbiol. 2022 Dec 19;8(4):528-543.	Original Article
149	Shimozono K, Nan H, et al.	薬剤部	Ubp1 knock-in mice reproduced the phenotype of SPG80.	J Hum Genet. 2022 Dec;67(12):679-686.	Original Article
150	Atsushi Uchida, Kayo Yuminoki, et al.	薬剤部	Novel nano-crystalline solid dispersion of nobiletin with improved dissolution behavior and oral absorption	Journal of Drug Delivery Science and Technology, Volume 79, 2023	Original Article
151	Ishiguro, Hiroki; Kibret, Berhanu Geresu; et al	遺伝子疾患診療科	Potential Role of Cannabinoid Type 2 Receptors in Neuropsychiatric and Neurodegenerative Disorders	FRONTIERS IN PSYCHIATRY 2022 Jun 14;13:828895.	Review

計151件

(注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)
- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。
- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること  
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。  
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)
- 6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1					Original Article
2					Case report
3					
～					

計0件

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>
・ 手順書の主な内容 委員会の設置、組織、運営、審査・報告等資料、審査手順、迅速審査、重篤な有害事象発生時、報告事項、記録の保管・公表の手順等	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 11 回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。  
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>
・ 規定の主な内容 医学研究実施者及び医学研究関係者の利益相反の存在を明らかにした上で、医学研究に係る利益相反の適切な管理を行うことにより、研究対象者の人権擁護及び安全性を確保し、かつ、本学及び職員等の社会的信頼を得て医学研究の推進を図ることを目的とする。	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年 11 回

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 6 回
・ 研修の主な内容 倫理指針の変更点、研究デザインの決め方とデータ収集、医師主導治験、臨床研究法など	

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

別紙の通り

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数 89 人

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
榎本 信幸	消化器内科	特命教授	39年	
佐藤 明	循環器内科	教授	33年	
副島 研造	呼吸器内科	教授	34年	
土屋 恭一郎	糖尿病・内分泌内科	教授	22年	
中島 歩	腎臓内科	教授	24年	
中込 大樹	リウマチ・膠原病内科	病院准教授	18年	
上野 裕司	神経内科	教授	23年	
桐戸 敬太	血液・腫瘍内科	教授	36年	
市川 大輔	第一外科	教授	33年	
中島 博之	第二外科	教授	33年	
松川 隆	麻酔科	教授	37年	
鈴木 健文	精神科	教授	25年	
犬飼 岳史	小児科	教授	34年	
吉野 修	産婦人科	教授	26年	
川村 龍吉	皮膚科	教授	32年	
百澤 明	形成外科	特任教授	24年	
波呂 浩孝	整形外科	教授	34年	
木内 博之	脳神経外科	教授	40年	
三井 貴彦	泌尿器科	教授	30年	
柏木 賢治	眼科	教授	37年	
櫻井 大樹	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	教授	26年	
大西 洋	放射線科	教授	35年	
上木 耕一郎	歯科口腔外科	教授	29年	
井上 克枝	臨床検査医学	教授	27年	
森口 武史	救急科	教授	26年	
近藤 哲夫	病理診断科	教授	28年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

- ・研修の主な内容
- ・研修の期間・実施回数
- ・研修の参加人数

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

- ・研修の主な内容
- ・研修の期間・実施回数
- ・研修の参加人数

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

・研修の主な内容

●腫瘍センターセミナー：自施設および他施設の医療従事者に対し、がんに関する治療および治療支援に関連する内容で講演を行う。

●緩和ケア研修会：自施設および他施設の医療従事者に対し、痛みをはじめとした、がん等に伴って生じる苦痛に対して、緩和ケアの基本的な知識・技術・態度について講義・ロールプレイング・グループワークを行う。

・研修の期間・実施回数（計 4 回）

●腫瘍センターセミナー（2 回）

・令和4年9月17日（日）プレジジョン・メディシン（精密医療）とがんゲノム  
(WEB配信のみ・<https://syuyocenter-shimin.jp/>)

・令和4年11月14日（月）がん治療をサポートする口腔ケア～口腔ケアの実際とその有効性について  
(オンラインライブ配信 (zoom) 1 回・後日オンデマンド配信あり・<https://syuyocenter-shimin.jp/>)

●緩和ケア研修会（2 回）

・令和 4 年年6月12日（日）2022年第 1 回山梨県緩和ケア研修会（1日）

・令和 4 年10月2日（日）2022年第4回山梨県緩和ケア研修会（1日）

・研修の参加人数（計 8 7 名・WEB 再生回数 2 2 1 回）

・令和4年9月17日（日）プレジジョン・メディシン（精密医療）とがんゲノム（再生回数135回）

・令和4年11月14日（月）がん治療をサポートする口腔ケア～口腔ケアの実際とその有効性について（ライブ参加48名・オンデマンド再生回数86回）

・令和 4 年年6月12日（日）2022年第 1 回山梨県緩和ケア研修会（23名）

・令和 4 年10月2日（日）2022年第4回山梨県緩和ケア研修会（16名）

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

## (様式第 5)

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 (2) 現状
管理責任者氏名	病院長 木内 博之
管理担当者氏名	総務課長 齊藤 敦、医事課長 井上 心

		保管場所	管理方法	
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	医療情報室	
		各科診療日誌	各診療科	
		処方せん	医療情報室	
		手術記録	医療情報室	
		看護記録	医療情報室	
		検査所見記録	医療情報室	
		エックス線写真	医療情報室	
		紹介状	医療情報室	
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	医療情報室	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	
		高度の医療の提供の実績	医事課	
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	総務課	
		高度の医療の研修の実績	総務課	
		閲覧実績	総務課 医療支援課 医事課	
			紹介患者に対する医療提供の実績	医事課
			入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課 薬剤部
	規則第一條の十一第一項に掲げる事項		医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療の質・安全管理部
			医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療の質・安全管理部
			医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療の質・安全管理部
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療の質・安全管理部	

		保管場所	管理方法	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染制御部	病院の管理及び運営に関する諸記録は、左の保管場所で保管管理している。
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医療の質・安全管理部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部・管理課（未承認等の医薬品関連）	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	臨床工学部	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学部	
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学部			
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床工学部			

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医療の質・安全管理部
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染制御部
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部・医療の質・安全管理部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医療の質・安全管理部
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医療の質・安全管理部
		医療安全管理部門の設置状況	医療の質・安全管理部
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医療の質・安全管理部
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	管理課・薬剤部
		監査委員会の設置状況	総務課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療の質・安全管理部
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療の質・安全管理部
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療の質・安全管理部
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	総務課
		職員研修の実施状況	総務課 医療の質・安全管理部
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	総務課 医療の質・安全管理部
管理者が有する権限に関する状況	病院経営企画課		
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	病院経営企画課		
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	病院経営企画課		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

## 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

### ○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画    ② 現状
閲覧責任者氏名	病院長 木内 博之
閲覧担当者氏名	総務課長 齊藤 敦
閲覧の求めに応じる場所	総務課
閲覧の手続の概要 記録閲覧を求める者からの申立てにより、適否を判断し、閲覧場所を定めて閲覧させている。	

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

### ○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 医療機関における安全管理に関する基本的考え方             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療安全の基本的考え方</li> </ul> </li> <li>(2) 医療機関に係る安全管理のための委員会その他医療機関内の組織に関する基本的事項             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安全管理の体制を確保するために、安全管理委員会及び医療の質・安全管理部の設置</li> <li>・ 医療安全管理責任者及び医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者、医療放射線安全管理責任者、説明と同意・カルテ記載管理責任者の設置</li> <li>・ 安全管理のための責任者（リスクマネジャー）を定め、病院の安全管理の体制確保に努める</li> </ul> </li> <li>(3) 医療に係る安全管理のための職員研修に関する基本方針             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安全体制の確保のために、職員研修の企画・実施</li> </ul> </li> <li>(4) 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「医療事故等発生報告書」「状況報告書」「インシデントレポート」の入力、報告及び対策</li> <li>・ 安全管理のためのマニュアルを整備し、安全管理委員会に届け出る</li> </ul> </li> <li>(5) 医療事故等発生時の対応に関する基本方針             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事故発生時の対応マニュアルの整備および事故発生時の対応</li> </ul> </li> <li>(6) 医療従業者と患者との間の情報共有に関する基本方針（患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針を含む。）             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 患者への情報提供</li> </ul> </li> <li>(7) 患者からの相談への対応に関する基本方針             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 患者相談対応</li> </ul> </li> <li>(8) 医療行為の院内資格制度             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ CVC挿入術認定医制度</li> </ul> </li> <li>(9) その他医療安全推進のために必要な基本方針</li> </ol>	
<p>② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設置の有無（有・無）</li> <li>・ 開催状況：年 13 回</li> <li>・ 活動の主な内容：</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 病院の安全管理体制の整備に関すること。</li> <li>(2) 病院の安全管理のためのマニュアルの整備に関すること。</li> <li>(3) 病院の医療事故等の防止・発生時の対応及び医療事故調査制度（以下「調査制度」という。）に関すること。</li> <li>(4) 病院で使用する医薬品の安全管理に関すること。</li> <li>(5) 病院で使用する医療機器の安全管理に関すること。</li> <li>(6) 病院の安全管理のための職員研修に関すること。</li> <li>(7) 患者に重篤な障害が生じた事例の、原因の分析、改善策の立案・実施及び職員への周知に関すること。</li> <li>(8) 立案した改善策の実施状況の調査及び見直しに関すること。</li> <li>(9) 医療従事者と患者との情報の共有に関すること。</li> <li>(10) 患者からの相談への対応に関すること。</li> <li>(11) その他病院の安全管理に関すること。</li> </ol>	

③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況

年 14 回

- ・ 研修の内容（すべて）：
- (1) 安全管理
- (2) 病院理念
- (3) 医薬品
- (4) 医療機器
- (5) 放射線
- (6) 医療ガス
- (7) CVポートシミュレーション
- (8) BLS研修
- (9) カンガルーポンプ説明
- (10) 患者参加型医療安全の取り組み
- (11) 安全の日研修
- (12) M&Mカンファレンス
- (13) 世界患者安全の日
- (14) 三方活栓の使用法演習

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備（有・無）
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：
- (1) 『インシデントレポートシステム』による運用を行っており、システムにインシデントレポート及び想定外報告が入力されると、医療の質・安全管理部員が内容を把握し、関連する部門のリスクマネジャー等に情報を伝えるとともに、更なる詳細情報が必要と判断したレポートに対してはRM（リスクマネジャー）報告を求めた。情報を受けた各リスクマネジャーはインシデントの状況確認及び原因の詳細説明、再発防止策を検討し、RM（リスクマネジャー）報告として報告した。RM（リスクマネジャー）報告は、医療の質・安全管理部員が内容を検討し、内容が不十分な場合は担当のリスクマネジャーに差し戻し再検討を依頼した。十分の場合は保存レポートとして終了した。
- (2) 提出された内容に基づき、重要事例について安全管理委員会及び医療の質・安全管理部会議において組織としてのインシデントの分析及び問題点を検討した。必要に応じて部署事例検討会を開催し、より実践に即した具体的分析・検討を行った。
- (3) 上記で検討された内容に対し、重要事例について医療の質・安全管理部会議、安全管理委員会で改善策が検討され、その結果はリスクマネジャー会議で報告及び意見交換され、リスクマネジャー会議資料として各部署に報告・周知を行ない、実行に移した。特に重要と考えられるインシデントについては、インシデント内容、改善策等をリスクマネジャーニュースとして発行し周知徹底した。また必要に応じてゼネラルリスクマネジャーが直接指導し実行に移した。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	○有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 基本方針</li> <li>(2) 院内感染対策管理責任者の設置</li> <li>(3) 委員会等の設置及び運用</li> <li>(4) 感染制御のマニュアルの整備</li> <li>(5) リンクドクター・リンクナースの配置</li> <li>(6) 院内感染発生時の対応</li> <li>(7) インフォームドコンセント</li> <li>(8) 報告の義務</li> <li>(9) 職員研修の実施</li> <li>(10) 指針の閲覧に関する事項</li> </ol>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 感染症アウトブレイクへの対応</li> <li>(2) 個別セクションの監視と対策</li> <li>(3) 感染対策の実施状況の調査・指導</li> <li>(4) 感染対策に関する教育啓蒙活動</li> <li>(5) 感染症サーベイランスの実施・評価</li> <li>(6) 感染制御コンサルテーション</li> <li>(7) 職員への職業感染対策推進</li> <li>(8) 感染対策に関する情報収集</li> <li>(9) 感染性廃棄物処理の監視及び指導</li> <li>(10) 感染対策マニュアルの更新</li> </ol>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 5 回
<p>・ 研修の内容（すべて）：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 手指衛生の適切なタイミングについて</li> <li>(2) 適切な検体採取について</li> <li>(3) 血液培養患者ラベルについて</li> <li>(4) 個人防護具の着脱について①</li> <li>(5) 個人防護具の着脱について②</li> </ol>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 ( ○有・無 )</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 感染制御委員会・感染制御部会議・感染対策チーム会議における方策の検討・決定・実施</li> <li>(2) 院内ラウンドの実施及び指導</li> <li>(3) 感染対策チーム員を通じて重要事項を各部署へ周知・伝達するとともに、各部署からの意見・質問を収集した後、会議で検討し再度チーム会議において周知を行なった。</li> <li>(4) 感染対策マニュアルの見直し・改訂</li> </ol>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 1 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容： 令和4年度もCOVID-19感染状況に鑑みE-learningを作成し、視聴および確認テストを実施した。研修内容は以下の通り  <ul style="list-style-type: none"> <li>医薬品取り扱いに関する基礎知識について</li> <li>医薬品安全管理手順書について</li> <li>的確な医薬品安全管理について</li> <li>医薬品に関する医療事故事例の解説</li> <li>カリウム製剤・インスリン製剤の取り扱いについて</li> <li>医薬品適応外使用・未承認医薬品の取り扱い規定について等</li> </ul> </li> </ul>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手順書の作成 (有・無)</li> <li>・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容： インシデント事例の発生要因に関連すると考えられる院内ルールなどを確認項目としてチェックリストを作成し、各部門のリスクマネージャーにそれぞれ部門の評価を依頼している。評価結果は、医薬品安全小委員会で報告され、安全対策の検討などに活用している。</li> </ul>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)</li> <li>・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例 (あれば)： R4年度は申請無し</li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容： 薬剤部医薬品情報室が中心となり、DI・BOX (105報/R4年度) および新採用医薬品情報 (21報/R4年度) を発行している。主に当院採用医薬品に関する医薬品情報 (添付文書の改訂、識別記号変更など安全に関する情報を中心に) を提供している。緊急安全背情報および安全性速報についてもこの媒体を使用し適宜解説などを加えて情報を提供している。 また、ダブルバック製剤の未開通事例など、当院においてインシデントが複数報告された場合には、医薬品安全管理者として院内周知文書を発行している。</li> </ul>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年36回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容： 使用方法に関する事項、保守点検に関する事項、不具合等が発生した場合の対応に関する事項など</li> </ul>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機器に係る計画の策定 (有・無)</li> <li>・ 機器ごとの保守点検の主な内容： 外観検査、機能条件検査、機械的検査、電気的検査、安全性検査、消耗部品交換など</li> </ul>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集 その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)</li> <li>・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）： 未承認医療機器の使用実績なし</li>   <li>・ その他の改善のための方策の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> <li>1. インシデント事例を踏まえた改善策の検討</li> <li>2. 上位会議（安全管理委員会）への事例報告</li> <li>3. 上位会議（安全管理委員会）での報告に基づいた更なる検討</li> <li>4. 学内各会議（主要会議）への事例報告</li> <li>5. リスクマネジメントニュース等による院内周知</li> <li>6. 医療機器安全小委員会による医療機器の安全性の確認</li> </ol> </li> </ul>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無
<p>・責任者の資格（医師・歯科医師）          ・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>管理者が指名した副病院長を医療安全管理責任者及び安全管理委員会委員長として配置し、その下に医療の質・安全管理部を設置、更に医療の質・安全管理部の組織として、医薬品安全小委員会、医療機器安全小委員会、診療用放射線安全管理小委員会を設け、医療安全管理体制を構築し、それら医療安全に関する業務を統括している。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（4名）・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>PMDA メディナビの情報提供、PMDA ホームページ、日本医療機能評価機構ホームページ、企業のホームページ、MR、郵送、FAX の手段で情報を入手し、院内に周知が必要と考えられる医薬品情報は、薬剤部でD I - B O X などの情報誌として分かりやすい形に編集し、院内各所に配布すると共に、病院内掲示板及び病院端末イントラネットに掲示し、ネット上ではバックナンバーも容易に参照できる体制となっている。重大な副作用に関する情報等、医薬品に関する重大な情報は、過去の処方歴の調査を行い、医師個人宛に情報を提供した。</p> <p>院内に通知した内容は、薬事委員会で報告し、病院運営委員会、医長・師長会で報告事項として周知した。</p> <p>病院全体に提供すべき重大な情報については、既読者リストを貼付し、情報を読んだ人の氏名を記載してもらい返送を依頼し、未読者に連絡した。</p> <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>医薬品安全管理責任者の責務に関する内規を基に、未承認等の医薬品の使用及び必要性の確認・指導を行った。また、医薬品適応外使用に関する使用及び必要性の確認・指導を行った。</p> <p>医薬品安全管理手順書について、医薬品安全管理小委員会で見直し・検討を行った。また、医薬品安全管理手順書どおり業務が行われているか、月1回、監査項目を定めチェックを実施した。</p>	

<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当者の指名の有無（有・<input checked="" type="radio"/>無）</li> <li>・担当者の所属・職種： <ul style="list-style-type: none"> <li>（所属： ， 職種 ） （所属： ， 職種 ）</li> </ul> </li> </ul>	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	<input checked="" type="radio"/> 有・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療の担い手が説明を行う際と同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無（<input checked="" type="radio"/>有・無）</li> <li>・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容： <p>全診療科を対象として、毎月、各診療科入院患者5件の診療録を無作為に抽出し、診療録内容及び同意書類の記載内容が規程等に基づき作成されたチェック票（評価基準）により、遵守状況の確認を実施している。評価基準を点数化しており、点数が継続的に低位なものについては直接指導を実施している。また、安全管理研修会の際に指導（勉強会）を実施している。</p> </li> </ul>	

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	<input checked="" type="radio"/> 有・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容： <p>全診療科を対象として、毎月、各診療科入院患者5件の診療録を無作為に抽出し、診療録内容及び同意書類の記載内容が規程等に基づき作成されたチェック票（評価基準）により、遵守状況の確認を実施している。評価基準を点数化しており、点数が継続的に低位なものについては直接指導を実施している。また、安全管理研修会の際に指導（勉強会）を実施している。</p> </li> </ul>	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	<input checked="" type="radio"/> 有・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・所属職員：専従（5）名、専任（ ）名、兼任（1）名 <ul style="list-style-type: none"> <li>うち医師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（1）名</li> <li>うち薬剤師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（ ）名</li> <li>うち看護師：専従（3）名、専任（ ）名、兼任（ ）名</li> </ul> </li> </ul> <p>（注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること</p>	

・活動の主な内容：

- (1) 安全管理体制の構築
- (2) 医療安全に関する職員への教育・研修の実施
- (3) 医療事故を防止するための情報収集、分析、対策立案、フィードバック、評価
- (4) 医療事故への対応

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。

※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（ 16 件）、及び許可件数（ 16 件）

・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（  有・無 ）

・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（  有・無 ）

・活動の主な内容：

- (1) 診療科より申請された高難度新規医療技術申請書の受付・内容確認
- (2) 高難度新規医療技術評価委員会への審査依頼
- (3) 高難度新規医療技術評価委員会の審査結果を踏まえ部門としての使用の可否の決定
- (4) 使用後のモニタリングの実施、規程の遵守状況等を確認のうえ管理者へ報告

・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（  有・無 ）

・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（  有・無 ）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（ 件）、及び許可件数（ 件）

・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（  有・無 ）

・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（  有・無 ）

・活動の主な内容：

- (1) 診療科より申請された未承認新規医薬品使用申請書の受付・内容確認
- (2) 未承認新規医薬品評価委員会への審査依頼
- (3) 未承認新規医薬品評価委員会の審査結果を踏まえ部門としての使用の可否の決定
- (4) 使用後のモニタリングの実施、規程の遵守状況等を確認のうえ管理者へ報告

- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 (  有 ・ 無 )
- ・ 未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無 (  有 ・ 無 )

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・ 入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 322 件
- ・ 上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 142 件
- ・ 上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容  
安全管理委員会において、全死亡例について死因等の確認結果情報を管理者に対し報告するとともに検証を行っている。また、主治医等により確認した予期せぬ死亡該当事例の是非についても報告と検証を行っている。併せて、これら死亡例について内部通報窓口への通報状況についても報告を行っている。また、管理者が定める水準以上の発生事象の状況等についても管理者に対し報告を行うとともに、原因分析及び改善策について検討を行っている。

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・ 他の特定機能病院等への立入り ( 有 (病院名： )  無 )
- ・ 他の特定機能病院等からの立入り受入れ ( 有 (病院名： )  無 )
- ・ 技術的助言の実施状況

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

- ・ 体制の確保状況

患者等相談窓口を病院外来ホールに設置するとともに、活動の趣旨、設置場所、担当者等及び対応時間を記載したものを病院玄関ホール入口に掲示している。

各相談への対応についても運営内規の趣旨を説明し、対応願うこととしている。

なお、患者のプライバシー保護の観点から、個室を設け相談内容により対応している。

また、電話相談、投書箱の設置、インターネット相談を実施し、相談窓口以外の相談にも対応している。

⑫ 職員研修の実施状況

・ 研修の実施状況

医療安全に関する研修はコロナ禍であり、eラーニングを中心に昨年実績で14回、感染対策に関する研修は昨年実績で5回実施した。病院職員は年間2回以上の受講を義務付けており、受講後は内容に関する小テストを活用し効果測定を行っている。

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・ 研修の実施状況

・ 管理者

公益財団法人日本医療機能評価機構

「2022年度特定機能病院管理者研修 (継続) 2023年2月2日」

・ 医療安全管理責任者

公益財団法人日本医療機能評価機構

「2022年度特定機能病院管理者研修 (継続) 2023年1月16日」

・ 医薬品安全管理責任者

公益財団法人日本医療機能評価機構

「2022年度特定機能病院管理者研修 (継続) 2023年1月16日」

・ 医療機器安全管理責任者

公益財団法人日本医療機能評価機構

「2022年度特定機能病院管理者研修 (継続) 2023年2月2日」

(注) 前年度の実績を記載すること

⑭医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・ 第三者による評価の受審状況

令和3年11月29日～12月1日において日本医療機能評価機構による病院機能評価<3rdG:Ver2.0>を受審。

・ 評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況

病院ホームページにて公開している。

・ 評価を踏まえ講じた措置

課題が残った改善項目を抽出し、毎月開催されている病院機能改善検討委員会にて各部署に指導し、その改善項目の進捗状況をモニタリングしている。

(注) 記載時点の状況を記載すること

## 規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

### 管理者に必要な資質及び能力に関する基準

- ・ 基準の主な内容
  1. 医師免許を有し、医学、医療及び経営に関し高い識見を有する者
  2. 以下のいずれかの業務に従事した経験を有し、医療安全についての十分な経験をもとに指導力を発揮し、患者の安全を第一に高度な医療安全の管理体制を確保できる者
    - ①医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者の業務
    - ②医療安全管理委員会の構成員としての業務
    - ③医療安全管理部門における業務
    - ④その他上記に準じる業務
  3. 本学附属病院または本学以外の病院で以下の経験を有し、病院の管理運営に必要な経験と能力をもとにガバナンスを発揮できる者
    - ①病院長又は副病院長の経験
    - ②診療科長又は中央診療施設等の長の経験
  4. 医学教育、医学研究及び高度医療に携わった経験を有し、教育・研究・診療に必要な資質・能力を有している者(医学系教授の経験を有する者が望ましい)
  5. 山梨県内の医療環境の改善に努めた経験を有し、地域医療、救急医療、感染症対策及び高度医療を担う医療機関として、県や山梨県医師会等関係機関との連携のもとその維持及び発展に貢献できる者
  6. 附属病院の将来に関して、明確なビジョンと強いリーダーシップをもってその発展に貢献できる者
- ・ 基準に係る内部規程の公表の有無 (  ・ 無 )
- ・ 公表の方法：病院HPにて掲載

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無				有・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無 ( 有・無 )</li> <li>・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無 ( 有・無 )</li> <li>・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無 ( 有・無 )</li> <li>・ 公表の方法：病院HPにて掲載</li> </ul>				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の 関係
松川 誠司	山梨大学	○	学長が指名する理事1名	有・無
山縣然太郎	山梨大学		医学部医学科の長として	有・無
野中 昭彦	山梨大学		学長が指名した副病院長	有・無
村松 陽子	山梨大学		附属病院看護部長として	有・無
手塚 司朗	山梨県医師会		県医師会長として豊富な知見を有する	有・無
菊島 利一	山梨県福祉保健部		県の医療に係る豊富な知見を有する	有・無
副島 研造	山梨大学		学長が指名した医学部臨床系教授	有・無
川村 龍吉	山梨大学		学長が指名した医学部臨床系教授	有・無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無	(有)・無		
<p>・合議体の主要な審議内容</p> <p>I. 山梨大学医学部附属病院運営委員会 病院の運営に関する重要事項を審議</p> <p>II. 山梨大学医学部附属病院診療科長会 病院の教員及び看護部長人事並びに予算に関する事項を審議</p> <p>・審議の概要の従業者への周知状況</p> <p>・附属病院イントラホームページへの掲載</p> <p>・会議終了後、資料を各診療科等で回覧</p> <p>・合議体に係る内部規程の公表の有無（有 (無) ）</p> <p>・公表の方法</p> <p>・外部有識者からの意見聴取の有無（ (有) ・無 ） 病院運営委員会においては、「委員長が必要と認めたときは、委員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる」と規定されている。</p>			
合議体の委員名簿			
I. 山梨大学医学部附属病院運営委員会			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
木内博之	○	医師	病院長
波呂浩孝		医師	副病院長
川村龍吉		医師	副病院長
中島博之		医師	副病院長
市川大輔		医師	副病院長
村松陽子		看護師	副病院長
石原昭		事務職員	副病院長

荒 神 裕 之		医師	G R M
高 野 伸 一		医師	消化器内科長
佐 藤 明		医師	循環器内科長
副 島 研 造		医師	呼吸器内科長
土 屋 恭一郎		医師	糖尿病・内分泌内科長
中 島 步		医師	腎臓内科長
中 込 大 樹		医師	リウマチ膠原病内科長
上 野 祐 司		医師	神経内科長
桐 戸 敬 太		医師	血液・腫瘍内科長
犬 飼 岳 史		医師	小児科長
鈴 木 健 文		医師	精神科長
百 澤 明		医師	形成外科長
松 川 隆		医師	麻酔科長
吉 野 修		医師	産婦人科長
三 井 貴 彦		医師	泌尿器科長
柏 木 賢 治		医師	眼科長
櫻 井 大 樹		医師	頭頸部・耳鼻咽喉科長
大 西 洋		医師	放射線治療科長
上 木 耕一郎		歯科医師	歯科口腔外科長
森 口 武 史		医師	救急科長
近 藤 哲 夫		医師	病理診断科長
石 黒 浩 毅		医師	遺伝子疾患診療科長
井 上 克 枝		医師	検査部長
石 山 忠 彦		医師	手術部長
森 阪 裕 之		医師	放射線診断部長
澤 田 智 史		医師	血液浄化療法部長
針 井 則 一		医師	総合診療部長
飯 嶋 哲 也		医師	医療チームセンター長
前 川 伸 哉		医師	肝疾患センター長
荒 木 拓 次		医師	I V Rセンター長
加 賀 佳 美		医師	てんかんセンター長
井 上 修		医師	感染制御部長
鈴 木 貴 明		薬剤師	薬剤部長
相 川 良 人		その他	放射線技術部長
市 川 二 郎		医師	入退院支援センター長
板 倉 淳		医師	臨床教育部長
鈴 木 章 司		医師	臨床実習センター長
榎 本 信 幸		医師	東部地域医療教育センター長
小 泉 修 一		医師	医学域長

## Ⅱ. 山梨大学医学部附属病院診療科長会

氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
木内博之	○	医師	病院長
高野伸一		医師	消化器内科 教授
佐藤明		医師	循環器内科 教授
副島研造		医師	呼吸器内科 教授
土屋恭一郎		医師	糖尿病・内分泌内科 教授
中島歩		医師	腎臓内科 教授
中込大樹		医師	リウマチ膠原病内科 教授
上野祐司		医師	神経内科 教授
桐戸敬太		医師	血液・腫瘍内科 教授
犬飼岳史		医師	小児科 教授
鈴木健文		医師	精神科 教授
川村龍吉		医師	皮膚科 教授
百澤明		医師	形成外科 教授
市川大輔		医師	消化器外科、乳腺・内分泌外科 教授
中島博之		医師	副病院 教授
波呂浩孝		医師	副病院 教授
松川隆		医師	麻酔科 教授
吉野修		医師	産婦人科 教授
三井貴彦		医師	泌尿器科 教授
柏木賢治		医師	眼科 教授
櫻井大樹		医師	頭頸部・耳鼻咽喉科 教授
大西洋		医師	放射線治療科 教授
上木耕一郎		歯科医師	歯科口腔外科 教授
森口武史		医師	救急科 教授
近藤哲夫		医師	病理診断科 教授
石黒浩毅		医師	遺伝子疾患診療科 教授
井上克枝		医師	臨床検査医学講座 教授
針井則一		医師	総合診療部長
鈴木貴明		薬剤師	薬剤部長
村松陽子		看護師	看護部長
板倉淳		医師	臨床教育部長
小泉修一		医師	医学域長

## 規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

### 管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（有  無 ）
- ・ 公表の方法

- ・ 規程の主な内容

山梨大学医学部附属病院規程において、「病院長は、病院の管理運営を総括する。」と、その権限が規定されている。また、国立大学法人山梨大学会計規則及び国立大学法人山梨大学予算細則において、医学部附属病院の予算責任者として規定されている。

- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割

【職名】副病院長

【役割】病院の管理運営を迅速、かつ円滑に行うため、病院長の指示に基づき、病院長を補佐する。

【職名】病院長補佐

【役割】病院長の命を受け診療及び管理運営に関し、病院長の指定する事項について、その担当する副病院長を支援するとともに、当該事項の担当部署に助言を行う。また、病院長の命を受け、他の分野においても当該担当副病院長を支援する。

【職名】病院長特別補佐

【役割】病院長の命を受け病院の診療及び管理運営に関し、病院長の指定する次の事項について、その担当する副病院長を支援し、当該事項の担当部署に助言を行う。

- (1) 患者サービスに関すること
- (2) 看護部の業務に関すること
- (3) 薬剤治験に関すること
- (4) 山梨県感染症対策に関すること
- (5) その他病院長が必要と認めること

【職名】病院経営管理部長

【役割】病院の適切な経営管理に資するための事項の企画、立案、検証を行うとともに、各種委員会及び関係部局等との連絡調整にあたる。

- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況

病院管理者向け研修会を開催し、病院執行部を担う人材の育成を行っている。また、事務部職員についても病院専門職員研修会等に参加させ、病院マネジメントを担う人材の育成を継続的に行っている。

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する状況

監査委員会の設置状況	(有)・無
<p>・ 監査委員会の開催状況：年 2 回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>(1) 医療安全管理責任者、医療安全管理部門、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者、高難度新規医療技術部門長及び医療放射線安全管理責任者の業務に関する監査。</p> <p>(2) 医療に係る安全管理の業務に関する監査。</p> <p>(3) その他委員が必要と認める病院業務に関する監査。</p> <p>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無 ( (有)・無 )</p> <p>・ 委員名簿の公表の有無 ( (有)・無 )</p> <p>・ 委員の選定理由の公表の有無 ( (有)・無 )</p> <p>・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無 ( (有)・無 )</p> <p>・ 公表の方法：</p> <p>病院ホームページ</p>	

監査委員会の委員名簿及び選定理由 (注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
矢野 真	他団体医師	○	豊富な臨床経験と医療安全に関する知識により	(有)・無	1
甲光 俊一	弁護士		弁護士としての豊富な専門知識を有している	(有)・無	1
保坂 武	市長		行政の長であり医療を受ける者の代表として	(有)・無	2

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者 (1.に掲げる者を除く。)
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・体制の整備状況及び活動内容

法人の業務の適正かつ効率的な運営を図るとともに、会計経理の適正を期することを目的として、定期監査及び臨時監査を実施している。

- ・ 専門部署の設置の有無 (  有 ・  無 )
- ・ 内部規程の整備の有無 (  有 ・  無 )
- ・ 内部規程の公表の有無 (  有 ・  無 )
- ・ 公表の方法

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・体制の整備状況及び活動内容

法人の業務の適正かつ効率的な運営を図るとともに、会計経理の適正を期することを目的として、定期監査及び臨時監査を実施している。

- ・ 専門部署の設置の有無 (  有 ・  無 )
- ・ 内部規程の整備の有無 (  有 ・  無 )
- ・ 内部規程の公表の有無 (  有 ・  無 )
- ・ 公表の方法

規則第15条の4第1項第3号口に掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況           <p>国立大学法人の経営に関する重要事項を審議する機関として、経営協議会を置き、下記について審議し、病院業務並びに経営状態について監督している。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 中期目標についての意見に関する事項のうち、経営に関するもの</li> <li>(2) 中期計画に関する事項のうち、経営に関するもの</li> <li>(3) 学則(経営に関する部分に限る。)、会計規程、役員に対する報酬及び退職手当の支給の基準、職員の給与及び退職手当の支給の基準その他の経営に係る重要な規則の制定又は改廃に関する事項</li> <li>(4) 予算の作成及び執行並びに決算に関する事項</li> <li>(5) 組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価に関する事項</li> <li>(6) その他経営に関する重要事項</li> </ol> </li> <li>・ 会議体の実施状況 ( 年 6 回 )</li> <li>・ 会議体への管理者の参画の有無および回数 ( <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 ) ( 年 6 回 )</li> <li>・ 会議体に係る内部規程の公表の有無 ( 有 <input checked="" type="radio"/> 無 )</li> <li>・ 公表の方法</li> </ul>			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：国立大学法人山梨大学経営協議会			
会議体の委員名簿			

氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
中村 和彦	学長	○	有
黒澤 尋	理事		有
奥田 徹	理事		有
茅 暁陽	理事		有
片田 晋	理事		有
市川 満	理事		有
木内 博之	理事		有
長田 公	山梨県副知事		無
進藤 中	株式会社山梨中央銀行取締役会長、 甲府商工会議所会頭		無
山本 健慈	大阪観光大学理事長、 元国立大学協会専務理事、 元和歌山大学学長		無

山 中 正 竹	一般財団法人全日本野球協会会長		無
窪 田 淳	甲府市副市長		無
野 田 嘉 明	全学同窓会会長、 医療法人のだ内科クリニック理事長		無
吉 岡 俊 昭	株式会社山梨放送常務取締役		無
齋 藤 貴 子	株式会社シャトレゼホールディング ス代表取締役社長		無
佐々木 宏 明	山梨トヨタ自動車株式会社代表取締役 社長		無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第 15 条の 4 第 1 項第 4 号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 ( <input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無 )</li><li>・ 通報件数 ( 年 0 件 )</li><li>・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 ( <input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無 )</li><li>・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 ( <input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無 )</li><li>・ 周知の方法</li></ul> 職員研修会

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
・ 情報発信の方法、内容等の概要	

2 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有・無
・ 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要  リウマチ膠原病センター、アレルギーセンター、IVRセンター、てんかんセンターといった診療機能別センターを設置し、複数の診療科が連携し高度な医療を提供する体制を整備している。	